BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.05.08 作成

2023 年 4 月新聞書評に掲載された本

王朝貴族と外交～国際社会のなかの平安日本～(歴史文化ライブラリー 567)

渡邊　誠 著

吉川弘文館

東アジア情勢において、消極的政治外交をとった日本。対外的な軍備を欠くなか、公卿たちはいかなる審議を重ね、外国への対応を協議したか。彼らが従った法と規範、国際感覚を読み解く。

産経新聞 2023/04/01

2023:3./ 7p,254p
978-4-642-05967-1
¥1,980〔税込〕

中国の伝統色～故宮の至宝から読み解く色彩の美～

郭 浩／李 健明 著

翔泳社

失われた中国の伝統色が甦る-。古典籍から色にまつわる言葉を探し出し、故宮博物院の文化財の色彩を色見本として体系化した伝統色 384 色を、二十四節気と七十二候に基づいた構成で紹介する。

産経新聞 2023/04/01

2023:1./ 295p
978-4-7981-7398-6
¥3,850〔税込〕

砂の宮殿

久坂部　羊 著

KADOKAWA

外科医の才所准一は海外富裕層向けの自由診療クリニックを運営している。顧問が不審死を遂げ、医師たちの信頼関係に亀裂が走る。高額な治療費への批判も止まず…。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2023/04/02

2023:3./ 347p
978-4-04-112537-3
¥1,870〔税込〕

江戸の芸者～近代女優の原像～(集英社新書　1155)

赤坂 治績 著

集英社

幕府が女性の舞台出演を禁じた江戸時代にも、踊る女、演じる女は人気だった! 出雲のお国、そのかぶき踊りを模倣した遊女歌舞伎、踊子、芸者…。知られざる女性芸能の成立と盛衰を描く。

産経新聞 2023/04/02

2023:3./ 222p
978-4-08-721255-6
¥1,012〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 4 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp　Email: marketing@maruzen.co.jp

歳はトルもの、さっぱりと

石井ふく子 著
中央公論新社
85 歳から肉食、おひとりさまに心強い「ひとつ屋根の下」のお仲間、ドアノブにかけておくぐらいの人づきあい…。現役最高齢のドラマプロデューサー・石井ふく子が、縁の育みかた、あっぱれな年齢の忘れかたを綴る。

産経新聞 2023/04/02

2023:2./ 189p
978-4-12-005627-7
¥1,650〔税込〕

安倍晋三回顧録

安倍晋三／橋本五郎／尾山宏 著
中央公論新社
一次政権の崩壊後に確信したこと、米中露との駆け引き、乱高下する支持率…。安倍晋三が「孤独」「決断」「暗闘」を語る。2020 年 10 月～21 年 10 月に計 18 回、36 時間にわたって行われた未公開インタビューを書籍化。

産経新聞 2023/04/02

2023:2./ 472p
978-4-12-005634-5
¥1,980〔税込〕

社史から読み解く長寿企業の DNA～歴史に見る強さの源泉～

村橋勝子 著
日経ＢＰ社
なぜあの会社は伸び続けてきたのか? 社史だからこそ知りうる岐路、キーパーソンの登場、運命を決めた英断…。日本の長寿企業 61 社の社史から、強い会社の DNA を浮き彫りにする。『調査月報』連載をもとに単行本化。

産経新聞 2023/04/02

2023:2./ 397p
978-4-296-11695-9
¥2,860〔税込〕

写真でたどる麗しの紳士服図鑑

リディア・エドワーズ 著
河出書房新社
フランス貴族からポール・スミスまで、華麗なるメンズウェアの歴史と変遷を、オールカラーの図版 300 点で辿る。スーツ、シャツ、ジャケット、ネクタイなど時代を語る紳士服を、生地、形、装飾、細部まで徹底解説する。

産経新聞 2023/04/02

2023:2./ 214p
978-4-309-25695-5
¥4,290〔税込〕

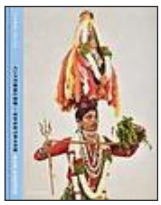
おとな体験授業?

なかがわちひろ 著
アリス館
自分がなりたいおとなになれる「おとな体験授業」。あすかはマンガ家になりたいと紙に書いたのですが、気付くと、りゅうじがなりたがっていたラーメン屋さんにいました。忙しくて大変でしたが、盛り付けをほめられて…。

産経新聞 2023/04/02

2023:3./ 86p
978-4-7520-1057-9
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



AAM AASTHA～インドの信仰と仮装-分かち合う神々の姿～

シャルル・フレジェ 著
青幻舎
人間や神々が登場する数えきれないほどの物語と、そのキャラクターを生きることで、信仰心を分かち合うインドの人々。現代インドに受け継がれる祭りと衣装を写真で紹介する。

産経新聞 2023/04/02

2023:3./ 323p
978-4-86152-905-4
¥4,400〔税込〕

ラテンアメリカン・ラプソディ(五柳叢書 113)

野谷　文昭 著
五柳書院
ラテンアメリカ文学は面白い! ガルシア=マルケス、プイグ、ボルヘスなどの訳書で知られる著者による、混沌に咲く花を愛でるように、ラテンアメリカ文学の秘密に触れる批評集。東京大学最終講義を含む、2 つの講義録も収録。

産経新聞 2023/04/02

2023:1./ 430p
978-4-901646-40-6
¥3,630〔税込〕

からだの美

小川 洋子 著
文藝春秋
イチローの肩、羽生善治の震える中指、ゴリラの背中、高橋大輔の魅惑的な首、貴ノ花のふくらはぎ、赤ん坊の握りこぶし-。隠された美を掬い取り、やわらかに照らし出す随筆 16 篇。『文藝春秋』連載を単行本化。

産経新聞 2023/04/02、読売新聞 2023/04/02

2023:3./ 123p
978-4-16-391669-9
¥1,760〔税込〕

瀧本幹也|写真前夜～I PHOTOGRAPH,THEREFORE I AM～

瀧本 幹也 著
玄光社
広告写真をはじめ、コマーシャルフィルムなど幅広い分野の撮影を手がける瀧本幹也。豊富な作品とともに、写真手法のヒント、カメラと写真の関係、写真の見せ方などを紹介し、写真への向き合い方をあきらかにする。

産経新聞 2023/04/08

2023:3./ 222p
978-4-7683-1750-1
¥2,750〔税込〕

星くずの殺人

桃野 雑派 著
講談社
完全民間宇宙旅行のモニターツアーで、宇宙ホテル「星くず」に着いた途端見つかった死体。それも無重力空間で首吊り状態だった。添乗員の土師穂稀は、会社の指示に従いツアーの続行を決めるが…。

産経新聞 2023/04/09

2023:2./ 318p
978-4-06-528954-9
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ほんとうの私を求めて(集英社文庫　え 2-15)

遠藤 周作 著
集英社
生誕 100 年を迎える“狐狸庵先生”の代表的エッセイ集。自分とどう向き合い、可能性を生かすか、さらに他人とどう付き合って、人生を豊かにしていけるかをやさしく説く。文壇の仲間をはじめとする幅広い交友関係も語る。

産経新聞 2023/04/09

2023:2./ 237p
978-4-08-744494-0
¥682〔税込〕

文豪ナビ遠藤周作～人間は弱い。だから美しい。～(新潮文庫　え-1-0)

新潮文庫 編
新潮社
代表作「沈黙」から没後発見された「影に対して」まで、弱者に寄り添い続けた遠藤周作に迫る。代表作のジャンル別紹介、くわしい評伝、作品をより楽しむためのコラムや読み物などを収録。

産経新聞 2023/04/09

2023:3./ 315p
978-4-10-112300-4
¥880〔税込〕

フランスの街の夜～遠藤周作初期エッセイ～

遠藤 周作 著
河出書房新社
フランス留学から帰国後、作家として歩みはじめた若き日々。単行本初収録作品も含め、遠藤周作が 1950 年代から 60 年代に執筆したエッセイを中心にまとめる。新聞匿名記事、直筆漫画も収録。

産経新聞 2023/04/09

2022:11./ 242p
978-4-309-03080-7
¥1,980〔税込〕

反戦と西洋美術(ちくま新書　1707)

岡田　温司 著
筑摩書房
西洋の美術は反戦への思いをどのように表現してきたのか。勝者の側で描かれた時代から激甚化する戦争の時代を背景に描かれた「戦争画」の倫理的・感性的・政治的な役割を巡り、揺れる「反戦」のイメージの変遷を捉えなおす。

産経新聞 2023/04/09

2023:2./ 200p 図版 16p
978-4-480-07529-1
¥990〔税込〕

ものがたりがうまれるとき(児童図書館・絵本の部屋)

デボラ・ホプキンソン 著
評論社
物語を書くのは、大変な作業。言葉は迷子になり、鉛筆は折れ、ボツになった紙の山が大きくなって…。ストーリーテラーとして評価の高いデボラ・ホプキンソンが、「生みの苦しみ」を描き、それを切り抜けるアイデアを授ける。

産経新聞 2023/04/09

2023:3./ 32p
978-4-566-08088-1
¥1,815〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

いま、映画をつくるということ～日本映画の担い手たちとの 21 の対話～

是枝裕和／土田環／安藤紘平／岡室美奈子／谷昌親／長谷正人／藤井仁子 著
フィルムアート社
脚本、演出、撮影、編集、製作…。時代を揺るがす作品はいかにして生まれるのか。大林宣彦、是枝裕和、周防正行ら、第一線の映画人たちから学ぶ。早稲田大学講義「マスターズ・オブ・シネマ」を書籍化。

産経新聞 2023/04/09

2023:3./ 277p
978-4-8459-2146-1
¥2,750〔税込〕

クレマンソー

ミシェル・ヴィノック 著
作品社
議会の論戦では“虎”と恐れられた「ドレフュス事件」の闘士。第一次大戦時の内閣を率いた指導者…。20 世紀フランスを代表する政治家ジョルジュ・クレマンソーの生涯を描く。フランスで権威あるオージュルデュイ賞受賞作品。

産経新聞 2023/04/09

2023:3./ 618p 図版 16p
978-4-86182-962-8
¥6,600〔税込〕

枕頭の一書～作家たちが読んだ人生最後の本～

窪島誠一郎 著
アーツアンドクラフツ
息をひきとる直前に読みたかったのはどんな書物だったのか、なぜその本を「人生最後の本」にえらんだのか。芥川龍之介など 6 人の作家をとりあげ、残り少ない生涯をあゆむ中で、なにを想い、どのような書物を読んだかを考える。

産経新聞 2023/04/09

2023:3./ 231p
978-4-908028-82-3
¥2,200〔税込〕

本売る日々

青山 文平 著
文藝春秋
江戸時代。本を行商して歩く私が見たものは、本を愛し、知識を欲し、人生を謳歌する人びとだった-。本屋の目を通して村と村が発展した在郷町の住人たちの、生き生きとした暮らしぶりを描く。『オール讀物』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/04/09、読売新聞 2023/04/23

2023:3./ 237p
978-4-16-391668-2
¥1,870〔税込〕

小津安二郎

平山 周吉 著
新潮社
小津監督のキャメラが捉える原節子の向こうには、いつも中国で戦死した天才・山中貞雄監督の存在があった-。生者と死者との間の「聖なる三角関係」が織り成す静寂の美の謎を解き明かす評伝。『新潮』連載を書籍化。

産経新聞 2023/04/15

2023:3./ 397p
978-4-10-352472-4
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

死刑のある国で生きる

宮下 洋一 著

新潮社

死刑廃止は、本当に唯一の答えなのか。アメリカ、フランス、スペイン、日本それぞれの実情を丹念に取材し、死刑囚や加害者家族、被害者遺族の声から死刑の意味に迫る。『小説新潮』『SlowNews』掲載を加筆修正。

産経新聞 2023/04/16

2022:12./ 375p
978-4-10-354861-4
¥1,980〔税込〕

北斎富嶽二〇〇景(Hokusai Books)

和田　京子 編

平凡社

錦絵揃物<冨嶽三十六景>、絵本「富嶽百景」全図をはじめ、摺物から肉筆画まで、北斎が描いた富士図を、海外の美術館所蔵品を中心に収録。長きにわたるその画業の変遷を、富士山を通して追う。布施英利のエッセイ等も掲載。

産経新聞 2023/04/16

2023:3./ 415p
978-4-582-66219-1
¥4,180〔税込〕

鯨オーケストラ

吉田 篤弘 著

角川春樹事務所

ラジオ局で番組を担当している僕。ある日、17 歳の時に絵のモデルをしたことを話したところ、リスナーから、僕によく似た肖像画を見た、と葉書が届き…。静かに心が共振する希望の物語。『Web ランティエ』連載を単行本化。

産経新聞 2023/04/16

2023:3./ 252p
978-4-7584-1438-8
¥1,870〔税込〕

江戸の衣装と暮らし解剖図鑑～町人・武家から遊女まで衣装から読み解く江戸の暮らしと仕事～

菊地 ひと美 著

エクスナレッジ

衣服を見ればその人の身分や職業がわかった江戸時代。武家・町人などの身分・職業別、男女別に、江戸時代初期から「粋」を創り出した後期の人びとまでの衣服をイラストで紹介。江戸時代の職業と暮らしを読み解く。

産経新聞 2023/04/16

2023:3./ 175p
978-4-7678-3125-1
¥1,848〔税込〕

鎌倉幕府の真実(産経セレクト S-030)

本郷和人 著

産経新聞出版

誰が「頼朝の助命」を嘆願したのか? 「実朝の首」はどこに消えた? なぜ「吾妻鏡」は“粛清劇”を語らない? 東京大学史料編纂所の本郷教授が、鎌倉幕府の定説・新説を覆す。『産経新聞』連載を再構成し加筆修正。

産経新聞 2023/04/16

2023:3./ 228p
978-4-8191-1422-6
¥990〔税込〕

経営は人間力!〜いま問われるリーダーの資質〜

大塚英樹 著

さくら舎

パンデミックで一流企業も後退戦を余儀なくされたが、そのとき問われたのが組織の団結力を高めるリーダーの人間力。日本を代表する 14 人のトップ経営者の人間力に迫る。『夕刊フジ』など連載を加筆・再構成。

産経新聞 2023/04/16

2023:4./ 287p
978-4-86581-384-5
¥2,200〔税込〕

日本の軍事的欠点を敢えて示そう

江崎道朗 著

かや書房

第二次安倍政権で日本の防衛・安全保障体制はどこまで改善され、残された課題はどのようなものなのか、その全体像を解説。また、なぜ日本政府は 43 兆円もの予算を費やして防衛力の強化を図るのかを分かりやすく説明する。

産経新聞 2023/04/16

2023:2./ 286p
978-4-910364-25-4
¥1,650〔税込〕

別れの色彩(CREST BOOKS)

ベルンハルト・シュリンク 著

新潮社

年齢を重ねた今だからわかる、あの日の別れの意味を-。男と女、親子、友だち、親しい隣人…ドイツのベテラン人気作家が、さまざまな別離をカラフルに描き出す円熟の短篇集。「愛娘」「島で過ごした夏」など、全 9 篇を収録。

産経新聞 2023/04/16、読売新聞 2023/04/30

2023:2./ 261p
978-4-10-590186-8
¥2,310〔税込〕

72 歳、好きな服で心が弾む、ひとり暮らし

ロコリ 著

KADOKAWA

69 歳で未経験のアルバイトに挑戦、71 歳で YouTuber デビュー…。72 歳、年金月 5 万円でひとり暮らしをする著者が、人生やプチプラコーデ術、インテリアの選び方など、毎日を楽しむ秘訣について綴る。

産経新聞 2023/04/22

2023:3./ 223p
978-4-04-606138-6
¥1,540〔税込〕

夜のだれかの岸辺

木村 紅美 著

講談社

漠然と「映画に係る仕事をしてみたい」と望んでいた 19 歳の春。茜は「毎晩、添い寝してほしい」という 89 歳の老女ソヨミに雇われ、風変わりなアルバイトを始め…。『群像』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/04/22、日本経済新聞 2023/04/22

2023:3./ 157p
978-4-06-531146-2
¥1,760〔税込〕

俠

松下 隆一 著
講談社
博奕から足を洗った、余命わずかの貧乏蕎麦屋、銀平。ある時、かつての自分を彷彿とさせる青年・清太が転がり込んだ。銀平は、清太や店の客らとの交流に、人生を前向きに捉えるようになるが…。『小説現代』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/04/23

2023:2./ 236p
978-4-06-529782-7
¥1,815〔税込〕

がらんどう

大谷 朝子 著
集英社
誰にも恋愛感情が抱けず、結婚や出産が見えない平井。その隣で、死んだ犬のフィギュアを作る菅沼。アイドルの推し活が繋いだアラフォー女性ふたりが、コロナ禍で共同生活を始め…。『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/04/23

2023:2./ 113p
978-4-08-771828-7
¥1,595〔税込〕

入門開発経済学～グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション～ (中公新書 2743)

山形辰史 著
中央公論新社
世界は今なお悲惨さに満ちている。「理不尽な悲惨さ」に直面する当事者と手を差しのべる人との関係はどうあるべきか。開発経済学の理論と最新の動向を紹介し、国際協力のあり方や、今こそ必要な理念について提言する。

産経新聞 2023/04/23

2023:3./ 6p,265p
978-4-12-102743-6
¥990〔税込〕

珈琲と煙草

フェルディナント・フォン・シーラッハ 著
東京創元社
イエズス会の寄宿学校での出来事、ナチの高官でユダヤ人迫害に加担した祖父、ある俳句を教えてくれた京都からの留学生、弁護士として出会った人々…。小説、エッセイ、観察記録など、多彩な手法で紡ぐ作品世界。

産経新聞 2023/04/23

2023:2./ 165p
978-4-488-01123-9
¥1,760〔税込〕

羊と日本人～波乱に満ちたもう一つの近現代史～

山本 佳典 著
彩流社
文明開化以降の日本には、いつも羊がいた-。在野の研究者が忘れられた日本の緬羊史を独自の視点でとらえ、膨大で緻密な調査と関係者への聞き取りを行い、たゆまぬ努力を続けた羊をめぐる人々の生き様を浮かび上がらせる。

産経新聞 2023/04/23

2023:3./ 401p
978-4-7791-2863-9
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ダンテ、李白に会う～四元康祐翻訳集古典詩篇～

四元康祐 著

思潮社

リルケ、ディキンソン、ダンテ、そして杜甫、李白…。古今東西の詩人たちの深層を手さぐりし、そのポエジーを思い切った跳躍で現在ただ今の日本語に響かせる、縦横無尽の翻訳集。『現代詩手帖』連載を書籍化。

産経新聞 2023/04/23

2023:3./ 267p
978-4-7837-2793-4
¥2,640〔税込〕

北関東の異界エスニック国道 354 号線～絶品メシとリアル日本～

室橋 裕和 著

新潮社

群馬県高崎市から茨城県鉾田市まで北関東を横断する一本の道、誰が呼んだか「エスニック国道」は知る人ぞ知る異国飯の本場だ。急速に「移民社会」化が進む日本の縮図、国道 354 号線を旅するノンフィクション。

産経新聞 2023/04/23、読売新聞 2023/04/23

2023:3./ 279p
978-4-10-354981-9
¥1,760〔税込〕

日本の電機産業はなぜ凋落したのか～体験的考察から見えた五つの大罪～(集英社新書　1153)

桂 幹 著

集英社

日本の電機産業が凋落した原因を、シャープ元副社長の息子であり、業界の最盛期と凋落期を現場で体感した著者が、世代と立場の違う親子の視点を絡めながら解き明かし、その反省を踏まえた改革を提言する。

産経新聞 2023/04/29

2023:2./ 254p
978-4-08-721253-2
¥1,034〔税込〕

ゴリラ裁判の日

須藤 古都離 著

講談社

ローズはとても賢く、言葉を理解し人間と「会話」ができるゴリラだ。人間の子供を助けるために、という理由で、夫ゴリラが射殺される。そしてローズは、人間に戦いを挑む。力ではなく、知恵と勇気を武器に。法廷で。

産経新聞 2023/04/30

2023:3./ 329p
978-4-06-531009-0
¥1,925〔税込〕

小説作法(中公文庫　こ 62-1)

小島信夫 著

中央公論新社

なぜ、小説を書くのか? 書き続けるために本当に大切なこととは? そもそも、小説とは何なのか? 常に現代文学の最前線を疾走し続けた作家が、これからの創作者に向けて伝える窮極のエッセンス。保坂和志との対談も収録。

産経新聞 2023/04/30

2023:4./ 427p
978-4-12-207356-2
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

居場所。～ひとりぼっちの自分を好きになる 12 の「しないこと」～

大崎　洋 著

サンマーク出版

ダウンタウンを見出し、ともに歩みつづけた吉本興業のトップがはじめて語る「生きづらさ」の処方箋。激動の人生を歩んだ著者が、自分や大切な人たちの「居場所」をつくるために心がけてきた 12 の「しないこと」を伝える。

産経新聞 2023/04/30

2023:3./ 309p
978-4-7631-3998-6
¥1,650〔税込〕

奥村靱正作品集

奥村 靱正 著

グラフィック社

伝統と近代、西洋と東洋、創造と引用、手仕事とコンピュータの間を自在に行き来し、日本のグラフィックデザインの世界性を体現するデザイナー、奥村靱正の作品集。70 年代後半から現在までのグラフィックワークを収録する。

産経新聞 2023/04/30

2023:3./ 273p
978-4-7661-3655-5
¥5,500〔税込〕

COLORED BLACK

デニス・モリス 著

ＨｅＨｅ

ロンドンのブラック・コミュニティの日常風景、自作の簡易スタジオでのポートレート…。写真家デニス・モリスが 10 代に撮影した作品を中心にした写真集。モノクロ写真を彩色したカラー作品も収録。本体は背表紙なし糸綴じ。

産経新聞 2023/04/30

2023:4./ 108p
978-4-908062-52-0
¥3,850〔税込〕

日本のローカル線 150 年全史～その成り立ちから未来への展望まで～

佐藤信之 著

ジェイワイエス(株)

なぜ建設され続けたのか? なぜ危機を迎えたのか? 明治時代、日本に鉄道が登場したころから現在までのローカル線の歴史を、公共交通機関研究の第一人者がまとめる。

産経新聞 2023/04/30

2023:4./ 479p
978-4-909979-43-8
¥2,530〔税込〕

ギフトライフ

古川 真人 著

新潮社

政府と企業により制度化された、安楽死と人体実験のための生体贈与というギフトライフ制度。提供者の家族には、ポイントが与えられ…。老人や弱者の未来図の闇に迫る長篇小説。『新潮』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/03/29、産経新聞 2023/04/02

2023:2./ 235p
978-4-10-350743-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

西洋書物史への扉(岩波新書 新赤版 1963)

髙宮 利行 著
岩波書店
文字メディアは、どのように誕生したのか。印刷術の発明のどこが革命的だったのか。書物の読み方は、歴史の中でどう変化したのか-。西洋の書物の豊かな歴史を訪ね、これまでとこれからを見つめるエッセイ集。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 11p,196p,11p
978-4-00-431963-4
¥1,100〔税込〕

サピエンス減少～縮減する未来の課題を探る～(岩波新書 新赤版 1965)

原 俊彦 著
岩波書店
人口増を前提にした政治と経済、文化、社会システムは再構築を迫られている。もはや不可避の未来である世界の人口減少の“最突端”に位置する日本から、サピエンスの未来を考察する。

朝日新聞 2023/04/01

2023:3./ 9p,167p
978-4-00-431965-8
¥968〔税込〕

丸の内魔法少女ミラクリーナ(角川文庫 む 16-1)

村田 沙耶香 著
KADOKAWA
36 歳の OL・茅ケ崎リナは、「魔法少女ミラクリーナ」に“変身”し、日々を乗り切っている。だが、親友の恋人と魔法少女ごっこをするはめになり…。リアル社会の欺瞞をえぐり出す短編集。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 227p
978-4-04-113009-4
¥704〔税込〕

君の名は。(角川つばさ文庫 C し 1-1)

新海 誠 著
KADOKAWA
田舎町の女子高生・三葉と意識が入れ替わるようになった東京の男子高校生・瀧。普段と違う三葉を疑問に思った周りの人たちは、彼女のことを考え出して…。2016 年 8 月公開アニメ映画の小説版。

朝日新聞 2023/04/01

2016:8./ 252p
978-4-04-631641-7
¥748〔税込〕

星屑家族<上>(BEAM COMIX)

幌山 あき 著
KADOKAWA
家族を「許可」するのは、子ども。「扶養審査官」という名のもとに、子どもたちが親を審査する－。子どもを持つ事が免許制になり、人々は「理想」の社会を手に入れた。「扶養審査官」のヒカリは、日々、親たちの審査を繰り返すうちに、ある日、訳アリの夫婦と出会う。家族のカタチを見つめなおす、SF ファミリーストーリー。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 202p
978-4-04-737351-8
¥770〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

星屑家族<下>(BEAM COMIX)

幌山　あき 著
KADOKAWA
子どもは、親が幸せになるための道具じゃない。子どもを持つ事が、「正しい」社会。人の親でなければ「人間ではない」世の中。そんな「理想」の世界で、ヒカリは一組の夫婦と夏を過ごす。子どもを求めるちさと、求めない大喜。「普通」ではない二人と時間を共にし、ヒカリに新しい感情が芽生えていく。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 234p
978-4-04-737352-5
¥792〔税込〕

美濃(講談社文芸文庫)

小島 信夫 著
講談社
愛する故郷の自然、風土、方言、歴史を取り込み、ルーツを探りながら、客観的に「私」を見つめる。伝統的な小説作法、小説形式を廃した、独特の饒舌体による、新機軸の長篇小説。虚構が生み出す新しい現実、自由奔放に展開する物語。

朝日新聞 2023/04/01

2009:11./ 429p
978-4-06-290066-9
¥1,870〔税込〕

開墾地

グレゴリー・ケズナジャット 著
講談社
留学先の日本から、サウスカロライナに帰郷したラッセル。葛の繁茂した庭、南部ならではの湿気、耳に届く哀切な音楽。彼は、遠くイランからこの地に根を下ろした父の来し方に想いを馳せ…。繊細な感性で描く新たなる越境文学。

朝日新聞 2023/04/01

2023:1./ 90p
978-4-06-531168-4
¥1,430〔税込〕

すべての、白いものたちの(河出文庫　ハ 16-1)

ハン・ガン 著
河出書房新社
生後すぐ亡くなった姉をめぐり、ホロコースト後に再建されたワルシャワの街と朝鮮半島の記憶が交差する、儚くも偉大な命の鎮魂と恢復への祈り。うぶぎ、しお、ゆき、ほね…。「白いもの」の目録を書きとめ紡がれた 65 の物語。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 196p
978-4-309-46773-3
¥935〔税込〕

リップマン公共哲学

ウォルター・リップマン 著
勁草書房
なぜ西洋民主主義社会は、独裁と世界大戦を防止することができなかったのか。「公共哲学」という言葉を初めて用いて、その原型を提示した予言的警告の書を新訳。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 20p,221p,5p
978-4-326-15485-2
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

友情を哲学する～七人の哲学者たちの友情観～(光文社新書　1243)

戸谷洋志 著

光文社

「友情」の多様性をとらえるヒントは哲学にある。アリストテレス×キングダム、ヴェイユ×3月のライオン、マッキンタイア×タコピーの原罪など、哲学者たちが考えた友情観を、人気漫画を例に解説する。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 268p
978-4-334-04650-7
¥990〔税込〕

転落(光文社古典新訳文庫　KA カ 4-2)

カミュ 著

光文社

場末のバーで話しかけてきたフランス人、クラマンス。元は順風満帆な弁護士で、いまでは「告解者にして裁判官」として働いているという。5日にわたる自分語りの末に明かされる、彼がこちらに話しかけてきた目的とは…。

朝日新聞 2023/04/01

2023:3./ 228p
978-4-334-75477-8
¥990〔税込〕

霧の城(実業之日本社文庫　い 9-1)

岩井　三四二 著

実業之日本社

武田軍に攻められ、落城寸前の美濃・岩村城。元城主の妻として城を守るおつやの方に、敵の大将・秋山善右衛門が和議の条件として、おつやと夫婦になりたいと申し出て…。実話を基に、織田と武田の熾烈な戦いとその後を描く。

朝日新聞 2023/04/01

2014:8./ 405p
978-4-408-55178-4
¥702〔税込〕

労働の思想史～哲学者は働くことをどう考えてきたのか～

中山　元 著

平凡社

人間の生活において労働はどのような意味をもっているのか。人類誕生からAI時代まで、哲学者の思想から労働の功罪の価値を明らかにし、生きる意味を問い直す思想史。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 326p
978-4-582-70365-8
¥3,300〔税込〕

限りある時間の使い方

オリバー・バークマン 著

かんき出版

人生は「4000週間」。この限られた時間をどう過ごすか? いわゆるタイムマネジメント術ではなく、もっと重要で充実した時間の過ごし方を提案する。

朝日新聞 2023/04/01

2022:6./ 291p,12p
978-4-7612-7615-7
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

メディア地質学～ごみ・鉱物・テクノロジーから人新世のメディア環境を考える～

ユッシ・パリッカ 著
フィルムアート社
気候変動に直面し、電子廃棄物の山が築かれ、マイクロプラスチックが地球規模で循環する、複雑な環境に取り巻かれた現代のメディア文化を理解するには。メディアテクノロジーを条件に新たな「人間」と「自然」を探究する。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 331p,17p
978-4-8459-1929-1
¥3,520〔税込〕

女の子たちと公的機関～ロシアのフェミニストが目覚めるとき～

ダリア・セレンコ 著
エトセトラブックス
国家と社会の歪みを日々身体で受け止めていた彼女たちは、ついにその理不尽さに気づき…。プーチン政権下で「国の道具」にされてきた非正規雇用の女の子たちが覚醒する、ウクライナ侵攻前夜に書かれたフェミニスト誕生小説。

朝日新聞 2023/04/01

2023:2./ 121p
978-4-909910-17-2
¥2,200〔税込〕

リベラリズムへの不満

フランシス・フクヤマ 著
新潮社
左右両派からの攻撃を受け、リベラリズムが深刻な脅威にさらされている。多様な政治的立場を包含する「大きな傘」としてのリベラリズムの真の価値を原点に遡って解き明かし、再生への道を提示する。

朝日新聞 2023/04/01、産経新聞 2023/04/30

2023:3./ 208p,13p
978-4-10-507321-3
¥2,420〔税込〕

大阪市立東洋陶磁美術館安宅コレクション名品選 101

大阪市立東洋陶磁美術館／泉屋博古館 著
青幻舎
従来の価値観から解き放たれた審美眼により選りすぐられた「安宅コレクション」から厳選した 101 件を収録。散逸危機当時の関係者による対談、この奇跡のコレクションが現在も存在する経緯も紹介する。

朝日新聞 2023/04/01、産経新聞 2023/04/30

2023:4./ 279p
978-4-86152-910-8
¥2,750〔税込〕

帝国日本と不戦条約～外交官が見た国際法の限界と希望～(NHK ブックス 1276)

柳原 正治 著
ＮＨＫ出版
国際法はなぜ戦争を防げないのか? 稀代の外交官・安達峰一郎の足跡を手がかりに、戦争と不戦条約の関係を国際法の観点から解明。国家自存と平和構築の間で苦闘した、知られざる帝国日本の姿を照らし出す。

朝日新聞 2023/04/01、読売新聞 2023/04/09

2022:12./ 252p
978-4-14-091276-8
¥1,540〔税込〕

クロスロードの記憶

後藤 正治 著

文藝春秋

川藤幸三と江夏豊、谷川浩司と羽生善治、藤沢周平と茨木のり子、ビートルズとオノ・ヨーコ…。ノンフィクションの泰斗が、忘れられぬ人物たちの交差路(クロスロード)の数々を描く。『週刊朝日』連載を加筆修正し、改題。

朝日新聞 2023/04/01、毎日新聞 2023/04/29

2023:2./ 293p
978-4-16-391662-0
¥2,035〔税込〕

検証官邸のイラク戦争～元防衛官僚による批判と自省～

柳澤 協二 著

岩波書店

首相官邸で自衛隊イラク派遣の実務責任者を務めた元防衛官僚が、アメリカの武力行使を支持した政府判断、自衛隊派遣のプロセスを検証。安全保障政策の拠り所とされている「日米同盟」を根幹から問う。

朝日新聞 2023/04/08

2013:3./ 13p,185p,21p
978-4-00-025883-8
¥2,640〔税込〕

私たちと戦後責任～日本の歴史認識を問う～(岩波ブックレット No.1075)

宇田川 幸大 著

岩波書店

長引くウクライナ戦争、東アジアの緊張の高まりなどをうけ、「戦争の危機」が喧伝されている。戦後日本がつくりあげてきた平和主義を再生・発展させるために、歴史認識を問い直す。

朝日新聞 2023/04/08

2023:2./ 60p
978-4-00-271075-4
¥627〔税込〕

バグダードのフランケンシュタイン

アフマド・サアダーウィー／柳谷 あゆみ 著

集英社

連日自爆テロの続く 2005 年のバグダード。吹き飛んだ遺体の残骸から生み出された怪物は、自分に死をもたらした者どもに復讐を誓い、混沌の夜を駆け巡る-。国家と社会を痛烈に皮肉るエンタテインメント群像劇。

朝日新聞 2023/04/08

2020:10./ 396p
978-4-08-773504-8
¥2,640〔税込〕

統一教会～性・カネ・恨から実像に迫る～(中公新書　2746)

櫻井義秀 著

中央公論新社

朝鮮戦争後の韓国で創設された小教団は、いかにして日本政治との蜜月を築き、世界宣教・財閥化をなしえたか。統一教会について、歴史的背景、教義、組織構造、法的観点などから多角的に論じる。

朝日新聞 2023/04/08

2023:3./ 5p,328p
978-4-12-102746-7
¥1,056〔税込〕

哀惜(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 502-1)

アン・クリーヴス 著
早川書房
海岸で死体が発見された。被害者は近頃町へやってきたアルコール依存症の男で、捜査を行うマシューの夫が運営する複合施設でボランティアをしていた。心に病を抱えながらも、立ち直ろうとしていた彼を殺したのは何者なのか?

朝日新聞 2023/04/08

2023:3./ 588p
978-4-15-185301-2
¥1,738〔税込〕

不快な夕闇

マリーケ・ルカス・ライネフェルト 著
早川書房
大切なウサギの代わりに兄が死にますようにと神に祈り、それが本当になってから赤いジャケットを脱がないヤス。これ以上悪いことが起きないよう外の世界から自分を守るためのジャケットだ。だが、どんどん家族は壊れていき…。

朝日新聞 2023/04/08

2023:2./ 350p
978-4-15-210211-9
¥2,970〔税込〕

たかが殺人じゃないか～昭和 24 年の推理小説～(創元推理文庫 M つ 1-8)

辻 真先 著
東京創元社
昭和 24 年、ミステリ作家志望の風早勝利は、名古屋市内の新制高校 3 年生になった。学制改革による、1 年だけの男女共学の高校生活。そんな夏休みに、勝利は湯谷温泉の密室殺人と、廃墟で起きた首切り殺人に巻き込まれる!

朝日新聞 2023/04/08

2023:3./ 440p
978-4-488-40518-2
¥990〔税込〕

孤島の十人(扶桑社ミステリー マ 35-1)

グレッチェン・マクニール 著
扶桑社
休暇で孤島の別荘に集まった 10 人の若者たち。嵐が島を襲うなか、何者かの恨みを示す謎の動画が発見され、犠牲者がでる。人間関係はもつれ、10 人は次々命を落としていく。いったいなぜ? そして犯人は?

朝日新聞 2023/04/08

2023:3./ 431p
978-4-594-09227-6
¥1,430〔税込〕

俳句が伝える戦時下のロシア～ロシアの市民、8 人へのインタビュー～

馬場朝子 編
馬場　朝子 著
現代書館
突然の隣国への軍事侵攻、他国からの制裁…。戦時下のいま、ロシアに暮らす人たちは何を詠み、何を思うのか。54 の俳句と 8 人の俳人へのインタビュー。NHK ETV 特集をもとに書籍化。テキストデータ請求券付き。

朝日新聞 2023/04/08

2023:2./ 219p
978-4-7684-5934-8
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

江戸の女子旅～旅はみじかし歩けよ乙女～

谷釜　尋徳 著
晃洋書房
関所を越え、難所を歩き、大河を渡る。それでも女性たちを惹きつけた旅の魅力とは。女子旅の必需品、ルートや 1 日に歩いた距離、旅装から旅費、グルメまで、近世に流行した女子旅の考察を通して、活発な江戸の女性像を描く。

朝日新聞 2023/04/08

2023:2./ 9p,184p
978-4-7710-3700-7
¥1,980〔税込〕

イラク戦争を知らない君たちへ

イラク戦争の検証を求めるネットワーク 編
あけび書房
過ちだらけのイラク戦争とは。2021 年 3 月のイベント「イラク戦争を知らないキミたちへ」で語られた 20 人のイラク戦争にまつわる個人的体験とともに、テーマに関連した寄稿文や日本の若者の対談録などをまとめる。

朝日新聞 2023/04/08

2022:3./ 225p
978-4-87154-207-4
¥1,760〔税込〕

田中敦子と具体美術協会～金山明および吉原治良との関係から読み解く～

加藤 瑞穂 著
大阪大学出版会
具体美術協会(具体)の主要メンバーの一人、田中敦子に関する研究書。田中作品の独創性を具体のリーダーである吉原治良やメンバーの金山明との関わりを踏まえ考察する。田中敦子が自作を語った貴重なインタビューも収録。

朝日新聞 2023/04/08

2023:1./ 398p
978-4-87259-770-7
¥7,920〔税込〕

無用の効用

ヌッチョ・オルディネ 著
河出書房新社
「無用の効用」を言い換えるなら、「<役立たず>が<役に立つ>」。役に立たない文学や芸術を愛せる人間になるために、錚々たる古の文人・思想家の言葉をたどり、生きる意志を再発見する。

朝日新聞 2023/04/08、産経新聞 2023/04/09

2023:2./ 269p
978-4-309-23124-2
¥2,475〔税込〕

師弟百景～“技”をつないでいく職人という生き方～

井上理津子 著
辰巳出版
庭師、染織家、刀匠、江戸切子職人、宮大工…。若き弟子はいかにして職人の世界に飛び込み、師匠はどのように技術と伝統を伝えたのか。師弟関係が紡ぐ 16 のライフストーリー。『なごみ』等掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2023/04/08、産経新聞 2023/04/09、読売新聞 2023/04/23

2023:3./ 215p
978-4-7778-2825-8
¥1,760〔税込〕

アメリカの人種主義～カテゴリー/アイデンティティの形成と転換～

竹沢 泰子 著

名古屋大学出版会

差別を生み出し続けたステレオタイプ、制度、学知などによる黒人、アメリカ先住民、アジア系移民の人種化の実態をとらえ、排除に抗うアイデンティティ形成のジレンマを提示。アートを手がかりに、固定化された対立をほどく。

朝日新聞 2023/04/08、東京・中日新聞 2023/04/09

2023:2./ 8p,427p,71p
978-4-8158-1118-1
¥4,950〔税込〕

世界を騙した女詐欺師たち

トリ・テルファー 著

原書房

巧みな言葉と行動力で宝石、車、家、遺産を手にする女詐欺師たち。何事にも動じない勇敢さで数々の障壁を突破し、ターゲットは痛みを感じる暇もなく騙されていく-。自信に満ち溢れた女たちを描くノンフィクション。

朝日新聞 2023/04/08、読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 363p
978-4-562-07254-5
¥1,980〔税込〕

マイノリティ・マーケティング～少数者が社会を変える～(ちくま新書 1717)

伊藤　芳浩 著

筑摩書房

マイノリティ自身が、マーケティング手法を用いて社会を変える「マイノリティ・マーケティング」。電話リレーサービス法制化、東京オリ・パラ放送手話通訳導入に尽力したNPOの実践を通して、社会を変える方法を伝える。

朝日新聞 2023/04/08、日本経済新聞 2023/04/22

2023:3./ 237p
978-4-480-07540-6
¥990〔税込〕

巨大おけを絶やすな!～日本の食文化を未来へつなぐ～(岩波ジュニア新書 962)

竹内 早希子 著

岩波書店

醤油、味噌、酒を仕込む、巨大な木桶。絶滅の危機に瀕する桶職人と大桶づくりの技術を未来へつなごうと立ち上がったのは、小豆島の醤油屋さんだった! “木桶職人復活プロジェクト”を立ち上げた人々の熱い奮闘記。

朝日新聞 2023/04/15

2023:1./ 9p,210p
978-4-00-500962-6
¥946〔税込〕

旅する通り雨(角川文庫　さ 60-6)

沢村凛 著

KADOKAWA

「雨がくると、覚悟をしなけりゃいけない。家族がひとり、へることを」 大人たちの不吉な噂話を聞いたハランの家に、ひとりの男が訪ねてきた。雨をつれて。しばらく泊めることになった旅人をハランは警戒し…。

朝日新聞 2023/04/15

2023:2./ 282p
978-4-04-112829-9
¥792〔税込〕

スターにはなれませんでしたが

佐藤　満春 著
KADOKAWA
いろいろ諦めた先にあった「自分の熱」を信じて動いた結果が、今-。放送作家、芸人、ラジオパーソナリティ、トイレや掃除の専門家として幅広く活躍する著者の自叙伝的エッセイ。オードリー、山里亮太らとの対談も収録。

朝日新聞 2023/04/15

2023:2./ 247p
978-4-04-605983-3
¥1,760〔税込〕

汝、星のごとく

凪良 ゆう 著
講談社
瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた櫂。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していき…。『小説現代』掲載を加筆改稿し単行本化。

朝日新聞 2023/04/15

2022:8./ 344p
978-4-06-528149-9
¥1,760〔税込〕

宇宙の音楽（1）(KC デラックス)

山本 誠志 著
講談社
吹奏楽を愛する少年・宇宙零(たかおきれい)。「あの演奏に入りたい」そう願った彼の夢は、持病のぜん息に阻まれた……。それでも、零の音楽への愛は変わらない。1人ピアノで吹奏楽を”弾き”つづけた。そんな零は、高校で運命的な出会いを果たす。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 192p
978-4-06-530433-4
¥726〔税込〕

元素 118 の新知識～引いて重宝、読んでおもしろい～　第 2 版(ブルーバックス　B-2226)

桜井 弘 著
講談社
それぞれに個性的な 118 個の元素の本質を、具体的なエピソードをまじえて描き出すとともに、特性、用途、健康や病気へ及ぼす影響などを解説する。元素に関する最新数値も掲載。国際標準の最新元素周期表に対応した第 2 版。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 558p
978-4-06-531316-9
¥1,650〔税込〕

キュリー夫人と娘たち～二十世紀を切り開いた母娘～

クロディーヌ・モンテイユ 著
中央公論新社
医学と放射能の研究に革命を起こしたマリー・キュリーが 2 人の娘に施した教育は、彼女たちを大いなる運命に導いた。輝かしくも複雑な運命を背負い、勇気と知性と献身とをもって 20 世紀を築いた 3 人の女性の肖像を描き出す。

朝日新聞 2023/04/15

2023:1./ 357p
978-4-12-005625-3
¥3,410〔税込〕

牧野富太郎の植物学(NHK 出版新書　696)

田中 伸幸 著
ＮＨＫ出版
「日本の植物学の父」とされる牧野富太郎は、研究者としての業績はあまり顧みられてこなかった。命名した植物、新種の発見、美しい植物画…。牧野が愛した研究の真実を、NHK 朝ドラ「らんまん」の植物監修者が描き出す。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 262p
978-4-14-088696-0
¥1,023〔税込〕

円～劉慈欣短篇集～(ハヤカワ文庫 SF 2401)

劉　慈欣 著
早川書房
円周率の中に不老不死の秘密がある。10 万桁まで円周率を求めよという秦の始皇帝の命を受け、荊軻は 300 万の兵による人列計算機を起動した! 「三体」の抜粋改作「円」など、劉慈欣の精髄 13 篇を収録した短篇集。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 546p
978-4-15-012401-4
¥1,210〔税込〕

美しい彼(キャラ文庫　な 2-5)

凪良ゆう 著
徳間書店
憧れの級友に抱く、信仰にも似た想い…スクールカースト Love ストーリー。

朝日新聞 2023/04/15

2014:12./ 317p
978-4-19-900780-4
¥693〔税込〕

われら古細菌の末裔～微生物から見た生物の進化～(共立スマートセレクション　38)

二井 一禎 著
共立出版
真核微生物からみた進化のルーツに焦点を当てながら、地球創生から始原的な微生物の誕生と細菌と古細菌の分岐を経て、古細菌からいかに真核生物が誕生してきたかを明快な文章で綴る。見返しに関連研究年表付き。

朝日新聞 2023/04/15

2023:2./ 8p,245p
978-4-320-00938-7
¥2,200〔税込〕

中国のメディア統制～地域間の「不均等な自由」を生む政治と市場～

于　海春 著
勁草書房
メディアへの人事統制、記者への褒賞制度、メディア間の市場競争…。中国のメディア統制の複雑な仕組みをデータ分析によって明らかにする。地域によってメディアの自由度が異なる「不均等な自由」の実態も浮かび上がらせる。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 7p,206p
978-4-326-30323-6
¥4,400〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ものがわかるということ

養老 孟司 著

祥伝社

若い頃は、勉強すれば、なんでも「わかる」と思っていた-。ものがわかるということ、「自分がわかる」のウソ、世間や他人とどうつき合うか…。養老孟司が、自分を自由にしてくれる「ものの見方・考え方」を説く。

朝日新聞 2023/04/15

2023:2./ 212p
978-4-396-61763-9
¥1,760〔税込〕

新宗教を問う～近代日本人と救いの信仰～(ちくま新書　1527)

島薗　進 著

筑摩書房

創価学会、霊友会、大本、立正佼成会、PL 教団、天理教…。どうして日本で新宗教はこれほどの影響力をもつのか。近代に大発展した新宗教はなぜ現代において衰退しつつあるのか。日本の新宗教の歴史を紹介し、その実際に迫る。

朝日新聞 2023/04/15

2020:11./ 317p
978-4-480-07351-8
¥1,034〔税込〕

流浪の月(創元文芸文庫 LA な 1-1)

凪良 ゆう 著

東京創元社

愛ではない。けれどそばにいたい-。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた小説。2022 年 5 月公開映画の原作。

朝日新聞 2023/04/15

2022:2./ 355p
978-4-488-80301-8
¥814〔税込〕

出口なお・王仁三郎～世界を水晶の世に致すぞよ～(ミネルヴァ日本評伝選)

川村　邦光 著

ミネルヴァ書房

激動の近代日本に直面する中で「大本」を創唱し発展させた、開祖なおと聖師王仁三郎。2 人が開祖・聖師となる過程を、近代日本と民俗社会の相剋の中から辿るとともに、その思想の創造性を考察する。

朝日新聞 2023/04/15

2017:9./ 31p,473p,9p
978-4-623-08120-2
¥4,180〔税込〕

ネオ万葉

横山裕一 著

パイインターナショナル

「万葉集」「新古今和歌集」などを題材に、性別や年齢、時空を超えたキャラクターたちがおりなす、具象表現に徹底した、まったく新しい和歌の世界。173 首の和歌から編まれた、22 の物語を収録する。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 263p
978-4-7562-5727-7
¥2,970〔税込〕

宇宙思考

天文物理学者ＢｏｓｓＢ 著
かんき出版
宇宙について解説し、さらに宇宙の本質を「見る」方法で、自分や人、関係、感情、社会など周りのモノゴト全てを思い、考える「宇宙思考」を紹介。科学的な思考法が自然と身につく。

朝日新聞 2023/04/15

2023:2./ 389p
978-4-7612-7655-3
¥1,980〔税込〕

落語×文学～作家寄席集め～

恩田 雅和 著
彩流社
近現代の作家や文学者、画家達の作品と「落語、落語家、寄席」に纏わる逸話を集め、広く世に知られた事象から著者が探り当てた事柄まで多岐にわたる蘊蓄をまとめる。『産経新聞』『大阪府保険医新聞』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 214p
978-4-7791-2849-3
¥2,750〔税込〕

創価学会～政治宗教の成功と隘路～

櫻井 義秀／猪瀬 優理 編
法藏館
日本最大の教団・創価学会はどのような理念と組織戦略をもって戦後から現代まで生き抜いてきたのか。日本社会に与えるインパクトを、政治との関係から読み解く論集。

朝日新聞 2023/04/15

2023:4./ 6p,321p,7p
978-4-8318-7765-9
¥2,530〔税込〕

アイヌの時空を旅する～奪われぬ魂～

小坂 洋右 著
藤原書店
現場に立つことで、過去が距離を縮めて迫り、和人の立場から描かれた歴史とは違う物語が紡ぎ出される。カヤックやカヌーや山スキー等で歴史を追体験し、アイヌ民族の世界観や自然観に迫るルポルタージュ。

朝日新聞 2023/04/15

2023:1./ 347p
978-4-86578-377-3
¥2,970〔税込〕

ありふれた金庫(ネコノス文庫　シリーズ百字劇場　キ 1-1)

北野勇作 著
ネコノス
たった百字で小説が書ける? <ほぼ百字小説>をライフワークとする SF 界のレジェンドが Twitter で毎日発表している 4 千を超える作品から、珠玉のマイクロノベルを収録する。

朝日新聞 2023/04/15

2023:3./ 207p
978-4-910710-08-2
¥1,210〔税込〕

生命の旅、シエラレオネ

加藤 寛幸 著
ホーム社
世界が危機的な状況にある今、自国や自分の利益を離れて、誰かのために行動することができるのだろうか。国境なき医師団の小児科医が、シエラレオネでのエボラとの壮絶な治療現場と、患者のこどもたちを描くノンフィクション。

朝日新聞 2023/04/15、日本経済新聞 2023/04/22

2023:2./ 285p
978-4-8342-5371-9
¥1,980〔税込〕

敗者としての東京～巨大都市の隠れた地層を読む～(筑摩選書　0248)

吉見　俊哉 著
筑摩書房
1590 年の家康、1868 年の薩長連合軍、1945 年の米軍。少なくとも三度占領されてきた、江戸=東京に伏在する「敗者たち」の記憶の水脈を探り当て、令和の東京とは異なる可能性を探究する。『ちくま』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/04/15、毎日新聞 2023/04/22

2023:2./ 341p
978-4-480-01768-0
¥1,980〔税込〕

キルプの軍団(岩波文庫　緑 197-3)

大江　健三郎 著
岩波書店
高校生の「僕」は、刑事の叔父さんとディケンズの小説「骨董屋」を原文で読み進めていくうちに、まるでそのストーリーが反映するかのように、とてつもない「事件」に巻きこまれ…。人間の罪とは何か、ゆるしとは何かを描く。

朝日新聞 2023/04/22

2018:5./ 400p
978-4-00-311973-0
¥1,001〔税込〕

悪い夏(角川文庫　そ 5-1)

染井　為人 著
KADOKAWA
社会福祉事務所で生活保護受給者(ケース)のもとを回るケースワーカーとして働いていた守は、同僚がケースの女性に生活保護の打ち切りをちらつかせ、肉体関係を迫っていることを知る。やがて脅迫事件は形を変え…。

朝日新聞 2023/04/22

2020:9./ 381p
978-4-04-109872-1
¥748〔税込〕

三年長屋(角川文庫　時-か 83-3)

梶　よう子 著
KADOKAWA
ゆえあって藩を致仕した左平次は、3 年住めば願いが叶うと噂される「三年長屋」の差配を始めた。はじめは「元お武家」と軽んじられる左平次だったが、持ち前のお節介を武器に、住人たちとの間に強い絆を築いていき…。

朝日新聞 2023/04/22

2023:2./ 411p
978-4-04-113309-5
¥946〔税込〕

名著の話～芭蕉も僕も盛っている～

伊集院　光 著
KADOKAWA
「おくのほそ道」など、NHK E テレ「100 分 de 名著」で出会った約 100 冊から、伊集院光が熟読して心に刺さった 3 冊を厳選。名著をよく知る 3 人と再会し、時間無制限で徹底トークを繰り広げる対談、第 2 弾。

朝日新聞 2023/04/22

2023:3./ 185p
978-4-04-400716-4
¥1,694〔税込〕

新しい人よ眼ざめよ(講談社文芸文庫)

大江 健三郎 著
講談社
神秘主義詩人ウィリアム・ブレイクの預言詩(プロフェシー)に導かれ、障害を持って生まれた長男イーヨーとの共生の中で、真の幸福、家族の絆について深く思いを巡らす。無垢という魂の原質が問われ、やがて主人公である作家は、危機の時代の人間の＜再生＞を希求する。

朝日新聞 2023/04/22

2007:2./ 394p
978-4-06-198467-7
¥1,760〔税込〕

福沢諭吉～最後の蘭学者～(講談社現代新書　現代新書 100 2699)

大久保 健晴 著
講談社
19 世紀後半、西洋は近代文明のモデルである一方で、独立を阻む脅威でもあった。この矛盾を乗り越えるために、福沢諭吉が重視したのが学問であった。「蘭学」をキーワードに、福沢諭吉の思想の本質に迫る。

朝日新聞 2023/04/22

2023:3./ 126p
978-4-06-531511-8
¥880〔税込〕

わかれ縁～狸穴屋お始末日記～(文春文庫　さ 77-1)

西條 奈加 著
文藝春秋
定職にもつかず浮気と借金を繰り返す亭主の元を飛び出した絵乃は、離婚の調停を得意とする公事宿「狸穴屋」の手代見習いとなる。果たして絵乃は一人前の公事師となり、自身の離縁も成し遂げられるか!?

朝日新聞 2023/04/22

2023:3./ 281p
978-4-16-792008-1
¥726〔税込〕

無縁坂～介錯人別所龍玄始末～(光文社文庫　光文社時代小説文庫　つ 15-16)

辻堂魁 著
光文社
牢屋敷の首打役だった祖父の生業を継いだ龍玄は、その腕の冴えを伝え聞いた武家から切腹の介錯を頼まれるようになる。龍玄の元を訪れる武家は、表には出せない事情を抱えていて…。不浄と呼ばれる首斬人の生き様と矜持を描く。

朝日新聞 2023/04/22

2023:3./ 300p
978-4-334-79514-6
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ユーチューバー

村上 龍 著
幻冬舎
世界一モテない男の異名を持つ四十路男が、70 歳の大物作家・矢崎に懇願したのは、自ら手がけるユーチューブ番組への出演。快諾した矢崎が語るのは、誰にも明かさなかった女たちとの秘話だった…。表題作など全 4 編を収録。

朝日新聞 2023/04/22

2023:3./ 169p
978-4-344-04102-8
¥1,760〔税込〕

日本人美術家のパリ～1878-1942～

和田　博文 著
平凡社
高村光太郎、藤田嗣治、岡本太郎…。19 世紀後半から 20 世紀前半にかけパリを訪れた日本人美術家たちの足跡から、当時の美術界の動向やその中での葛藤を明らかにする。

朝日新聞 2023/04/22

2023:2./ 429p
978-4-582-20729-3
¥5,500〔税込〕

共和国の美術～フランス美術史編纂と保守/学芸員の時代～

藤原 貞朗 著
名古屋大学出版会
戦争に向かう危機の時代に、中世宗教美術からかつての前衛までを包摂するナショナルな歴史像が、刷新された美術館を舞台に創られていく。その過程を、担い手たる学芸員=「保守する人」とともに描き、芸術の歴史性を問い直す。

朝日新聞 2023/04/22

2023:2./ 10p,351p,91p
978-4-8158-1110-5
¥6,930〔税込〕

消え去る立法者～フランス啓蒙における政治と歴史～

王寺 賢太 著
名古屋大学出版会
18 世紀フランス、啓蒙の時代の哲学者たちの立法者論を焦点として、それぞれの著者の政治理論と歴史認識の関係を明らかにする。モンテスキュー「法の精神」、ルソー「人間不平等起源論」「社会契約論」などをとりあげる。

朝日新聞 2023/04/22

2023:2./ 8p,491p,30p
978-4-8158-1120-4
¥6,930〔税込〕

自転車と女たちの世紀～革命は車輪に乗って～(ele‐king books)

ハナ・ロス 著
Ｐヴァイン
19 世紀、女たちはレンガや卵、腐った野菜などを投げつけられても自転車を漕ぐのを止めなかった。そしてそれが世界を変えた-。自由のマシンに乗った自転車女たちの痛快かつ命がけの実話集。

朝日新聞 2023/04/22

2023:1./ 479p
978-4-910511-38-2
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

インドの正体～「未来の大国」の虚と実～(中公新書ラクレ　793)

伊藤融 著
中央公論新社
ロシアと西側との間でふらつき、カーストなど人権を侵害し、自由を弾圧する国を信用してよいのか? インドの陰の部分にメスを入れつつ、キレイ事抜きの実像を検証し、「厄介な国」との付き合い方を前提から問い直す。

朝日新聞 2023/04/22、産経新聞 2023/04/23

2023:4./ 206p
978-4-12-150793-8
¥902〔税込〕

母は死ねない

河合　香織 著
筑摩書房
育てたい。愛したい。それだけの願いを叶えることが、こんなにも難しい-。自らも母としてあがくノンフィクション作家が、様々な女性たちの声を聴き取り、綴る。『ちくま』連載を大幅に改稿し、書き下ろしを加える。

朝日新聞 2023/04/22、東京・中日新聞 2023/04/30

2023:3./ 214p
978-4-480-81570-5
¥1,650〔税込〕

世界の片隅で日本国憲法をたぐりよせる(岩波ブックレット　No.1076)

大門 正克 著
岩波書店
武力の前に、平和をうたう日本国憲法は無力なのか? ごく普通の人々のローカルなとりくみが憲法理解を更新させ、普遍へとつながる可能性をもつことを 3 つの歴史実践から示し、国際社会の中で日本国憲法を捉える回路をさぐる。

朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 71p
978-4-00-271076-1
¥693〔税込〕

越境する民～近代大阪の朝鮮人史～(岩波現代文庫　学術　463)

杉原 達 著
岩波書店
暮しの中で朝鮮人と出会った日本人の外国人認識はどのように形成されてきたのか。大阪における朝鮮人の歴史を辿りながら、より普遍的、より世界的な問いへの接近を試みた「地域からの世界史」。

朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 6p,300p
978-4-00-600463-7
¥1,672〔税込〕

また会う日まで

池澤夏樹 著
朝日新聞出版
海軍軍人、天文学者、クリスチャンとして、戦前、戦中、戦後を生きた秋吉利雄。この 3 つの資質はどのように混じり合い、たたかったのか。史実を融合した歴史小説。朝日新聞連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 723p
978-4-02-251897-2
¥3,960〔税込〕

教育勅語と御真影～近代天皇制と教育～(講談社現代新書　2701)

小野 雅章 著

講談社

「教育勅語」と「御真影」が当初の目的を逸脱し、絶対視されてゆく戦前の過程をたどる。また、敗戦により無効と公的に宣言された「教育勅語」が、既成事実の積み重ねにより復権を果たしてゆく戦後の過程も客観的に叙述する。

朝日新聞 2023/04/29

2023:4./ 332p
978-4-06-531760-0
¥1,320〔税込〕

ルポ筋肉と脂肪～アスリートに訊け～

平松 洋子 著

新潮社

人は身体から離れては生きられない。相撲部屋の親方、オリンピックでメダルをもたらす栄養士など、理想の身体を作り上げるプロに取材し、体脂肪などのメカニズムにも踏み込むルポルタージュ。『小説新潮』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2023/04/29

2023:1./ 379p
978-4-10-306475-6
¥2,310〔税込〕

「私のはなし部落のはなし」の話

満若勇咲 著

中央公論新社

日本に残る「部落差別」を丸ごと見つめ、多くの観客を集めたドキュメンタリー映画「私のはなし部落のはなし」監督による初エッセイ。大学時代に作った初作品「にくのひと」封印から今作公開までの 12 年の歩みを綴る。

朝日新聞 2023/04/29

2023:2./ 238p
978-4-12-005632-1
¥1,980〔税込〕

高倉健、最後の季節。

小田 貴月 著

文藝春秋

2014 年、悪性リンパ腫が発覚した高倉健。孤高の映画俳優は、それでも仕事への情熱が尽きることはなかった-。17 年の時を共にしたパートナーが、高倉健の最後の 1 年を綴る。

朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 209p
978-4-16-391670-5
¥1,650〔税込〕

2050 年のメディア(文春文庫　し 70-1)

下山 進 著

文藝春秋

紙かデジタルか、技術革新かスクープか。『読売新聞』『日経新聞』『Yahoo!JAPAN』を軸に、インターネット以降に起きた世界のメディア界の地殻変動を描く。新章「新聞 vs.プラットフォーマー」を加筆し文庫化。

朝日新聞 2023/04/29

2023:4./ 548p
978-4-16-792032-6
¥1,210〔税込〕

カムイの大地～北海道と松浦武四郎～

泉田　もと 著
岩崎書店
ひたすら北の大地を歩き続けた男は、旅の途中でアイヌの村を訪れ、温かいもてなしに感謝と友情で応えた。そして言葉をはじめあらゆるものを記録に残し、広く世に伝えようとして…。北海道の名づけ親・松浦武四郎の物語。

朝日新聞 2023/04/29

2023:2./ 186p
978-4-265-84039-7
¥1,650〔税込〕

酒場學校の日々～フムフム・グビグビ・たまに文學～(ちくま文庫　か 83-2)

金井　真紀 著
筑摩書房
新宿ゴールデン街にある、詩人・草野心平ゆかりのバー「學校」を、ひょんなことから手伝うことになった著者は、カウンターの内側から酔っ払いが織りなす風景を観察し…。偏愛と断片のドキュメント。

朝日新聞 2023/04/29

2023:4./ 254p
978-4-480-43872-0
¥880〔税込〕

BPO と放送の自由～決定事例からみる人権救済と放送倫理～

三宅　弘、小町谷　育子 著
日本評論社
放送の自由の質を高める放送の自律。この自律を支える放送倫理・番組向上機構(BPO)というチャレンジ。BPO の活動と放送にかかわる倫理や判例・制度を幅広く解き明かし、放送の自由を考える。

朝日新聞 2023/04/29

2016:6./ 12p,321p
978-4-535-52190-2
¥2,970〔税込〕

表現の自由に守る価値はあるか

松井 茂記 著
有斐閣
ヘイトスピーチ、テロや暴力をあおる SNS、リベンジポルノ、フェイクニュース…これらが問題となるたびに「表現の自由」は後退させられていく。果たして表現の自由には守るべき価値はないのか、問題提起する。

朝日新聞 2023/04/29

2020:12./ 10p,389p
978-4-641-22800-9
¥7,480〔税込〕

抵抗する動物たち～グローバル資本主義時代の種を超えた連帯～

サラット・コリング 著
青土社
なぜ動物たちは人間に抵抗するのか、いかに抵抗するのか、何のために抵抗するのか-。これらの問いを分析することで、動物たちの抵抗を政治的・社会的文脈に位置付け、その背景にある構造的不正を明るみに出す。

朝日新聞 2023/04/29

2023:2./ 316p,17p
978-4-7917-7535-4
¥3,520〔税込〕

じっちょりんのたんじょういわい

かとう あじゅ 著
文溪堂
とても小さなじっちょりんたちは、さくらの花びらがひらひら落ちるころ、「たんじょう祝い」をします。いったい、どんなお祝いをするのでしょうか。「じっちょりん」シリーズ第5弾。

朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 32p
978-4-7999-0475-6
¥1,540〔税込〕

放送法と権力

山田健太 著
田畑書店
巧妙にそして着実に「放送の自由」が剝ぎ取られつつあるいま、放送局が果たすべき社会的使命とは何か。メディア論の第一人者が、瀬戸際の言論の自由を守り、より強靱なジャーナリズム活動を実践するための覚悟について語る。

朝日新聞 2023/04/29

2016:10./ 343p,4p
978-4-8038-0338-9
¥2,530〔税込〕

放送法逐条解説　改訂版

金澤　薫 著
情報通信振興会
平成22年の改正により規律体系が大幅に見直され、平成23年6月にすべての規定が施行された放送法を逐条解説。放送法の制定・改正経緯のほか、放送関連年表等の附録も収録。

朝日新聞 2023/04/29

2012:1./ 8p,540p
978-4-8076-0664-1
¥5,280〔税込〕

ゲゲの謎～あさいますお著作集～

浅井玉雄 編
あさいますお 著
風媒社
思索する、詩作する、試作する-。永遠の「しさく者」あさいますおの謎を解く。あさいますお発行の個人誌に掲載された詩や文章、イラストなどの作品を発行年順に収録する。

朝日新聞 2023/04/29

2023:2./ 519p 図版14p
978-4-8331-4957-0
¥3,960〔税込〕

プロだけが知っている小説の書き方～あなたの才能も一気に開花～

森沢明夫 著
飛鳥新社
小説投稿サイト『ノベルアップ+』に寄せられた、「創作のお悩み」にQ&A形式で答え、小説家のプロが心得ている「実践的なコツ」と、その「使い方」を丁寧に解説する。短編・長編・ライトノベル・マンガにも対応。

朝日新聞 2023/04/29

2022:7./ 253p
978-4-86410-915-4
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

だれのせい?

ダビデ・カリ、レジーナ・ルック-トゥーンペレ 著
ｇｒｅｅｎ　ｓｅｅｄ　ｂｏｏｋｓ
クマの兵士は自分の剣の切れ味を試したくて、森中の木を切っていた。そんなある日、上流のダムから水があふれ、自分でこしらえた砦が壊れてしまい…。砦を壊したのはだれ!? 漫画家ヤマザキマリ初のイタリア語翻訳絵本。

朝日新聞 2023/04/29

2023:2./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-910956-00-8
¥1,980〔税込〕

よき時を思う

宮本 輝 著
集英社
90 歳の記念に祖母が計画した、家族のための豪華絢爛な晩餐会。そこに秘められた 16 歳の日の出会いと別れの記憶…。孫の綾乃は祖母の生涯を辿り、語られずにきた苦難と情熱を知る。『すばる』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/04/02

2023:1./ 379p
978-4-08-771822-5
¥2,200〔税込〕

語りと祈り

姜信子 著
みすず書房
かつて物語の多くは、土地に息づく小さな神々の声をもって語られていたが、人々は近代の到来とともに忘れていった。説経、山伏祭文など、「語り」の声に耳澄まし、失われた声を追い来るべき「声」の場、詩の可能性を眼差す。

東京・中日新聞 2023/04/02

2023:1./ 315p
978-4-622-09569-9
¥4,400〔税込〕

民主主義のミカタ～宇野重規×岸本聡子～

宇野重規×岸本聡子 著
東京新聞出版部
民主主義研究の第一人者・宇野重規東大教授と、草の根民主主義の実践者・岸本聡子杉並区長が、日本の民主主義の危機的状況と将来への希望を語る。『東京新聞』の Web 講座と、『東京新聞』掲載のインタビュー、対談を書籍化。

東京・中日新聞 2023/04/02

2023:3./ 149p
978-4-8083-1082-0
¥1,540〔税込〕

オマージュ<賛歌>to 中森明菜

島田雄三／濱口英樹 著
シンコーミュージック・エンタテイメント
中森明菜を見いだし、彼女と真摯に向き合いつつ、数々の大ヒット曲をともに生み出していった初代ディレクターが、「中森明菜とその音楽」を明らかにする。楽曲制作に関わった作家陣やエンジニアらもその背景を浮き彫りにする。

東京・中日新聞 2023/04/02、読売新聞 2023/04/30

2023:1./ 335p
978-4-401-65253-2
¥2,530〔税込〕

証し～日本のキリスト者～

最相　葉月 著
KADOKAWA
なぜ、あなたは神を信じるのか。自然災害や戦争、病のような不条理に直面してもなお、信仰はゆるぎないものであったか…。日本全国の教会を訪ね、キリスト教の信者135人にインタビュー。神と共に生きる彼らの半生を伝える。

東京・中日新聞 2023/04/09

2022:12./ 1094p
978-4-04-601900-4
¥3,498〔税込〕

ルポ大学崩壊(ちくま新書　1708)

田中 圭太郎 著
筑摩書房
教職員に罵声を浴びせて退職強要。寮に住む学生ら45人を提訴。突然の総長解任。パワハラの捏造…。大学政策転換で疲弊する現場の声を集め、大学崩壊の背景を探る。

東京・中日新聞 2023/04/09

2023:2./ 282p
978-4-480-07539-0
¥990〔税込〕

雑草ラジオ～狭くて自由なメディアで地域を変える、アマチュアたちの物語～

瀬戸義章 著
英治出版
アマチュア集団が作った「背負って運べるラジオ局」が、災害大国に広がり始めた! 阪神・淡路大震災や熊本地震での体験から、開発・実装のドタバタまで、日本～インドネシアでの縦横無尽の挑戦を紹介する。

東京・中日新聞 2023/04/09

2023:1./ 223p
978-4-86276-328-0
¥1,980〔税込〕

街とその不確かな壁

村上 春樹 著
新潮社
その街に行かなくてはならない。なにがあろうと-。<古い夢>が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。魂を揺さぶる書下ろし長編。

東京・中日新聞 2023/04/15、日本経済新聞 2023/04/22、毎日新聞 2023/04/22

2023:4./ 661p
978-4-10-353437-2
¥2,970〔税込〕

最後の猿まわし

馬宏傑 著
みすず書房
農閑期に芸を売って生計を立てる。痩せた貧しい土地に受け継がれてきた生き方は、文明化の影で居場所を失い消え去ろうとしていた-。猿まわしで生きる最後の世代を追い、中国の最下層にある生を見つめるノンフィクション。

東京・中日新聞 2023/04/16

2023:2./ 11p,325p 図版24p
978-4-622-09587-3
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ちんどん屋の響き～音が生み出す空間と社会的つながり～

2023:3./ 6p,279p
978-4-7907-1780-5
¥3,850〔税込〕

阿部 万里江 著

世界思想社

路上の巡回広告業ちんどん屋の音は、広告という文脈を超えて、多くの聴き手と文脈の中で共鳴している。大阪のちんどん屋を通して、ちんどんの歴史と実践を捉える。

東京・中日新聞 2023/04/16

「アメリカ小麦戦略」と日本人の食生活　新版

2022:12./ 6p,262p
978-4-86578-374-2
¥2,750〔税込〕

鈴木 猛夫、江崎 道朗 著

藤原書店

第二次大戦後、アメリカの余剰小麦が日本に供給され、日本人の食生活は劇的に洋食化した。行政と食品業界のタブー、戦後の「アメリカ小麦戦略」の真相に迫り、非精白米を基本にした、風土にあった食生活の復活を訴える。

東京・中日新聞 2023/04/16

誰に似たのか～筆墨問屋白井屋の人々～

2023:4./ 259p
978-4-02-251898-9
¥1,760〔税込〕

中島要 著

朝日新聞出版

隠居した老婆の恋に振り回される兄妹、実家の隠し子騒動に苛立つ嫁、料理人修行中の孫娘…。江戸日本橋の筆墨問屋を舞台に、三世代の本音が飛び交う家族小説。『週刊朝日』掲載に書下ろしを加え単行本化。

東京・中日新聞 2023/04/22

くもをさがす

2023:4./ 252p
978-4-309-03101-9
¥1,540〔税込〕

西 加奈子 著

河出書房新社

カナダで、がんになった-。2021 年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から寛解までの約 8 ケ月間を克明に描く。祈りと決意に満ちた初のノンフィクション。

東京・中日新聞 2023/04/22、毎日新聞 2023/04/29

どんがら～トヨタエンジニアの反骨～

2023:2./ 348p
978-4-06-531157-8
¥1,980〔税込〕

清武 英利 著

講談社

「会社には、俺たちみたいなクソッタレも必要だ!」 「絶対に売れない」と言われても、スポーツカー「86」の復活に賭けたトヨタチーフエンジニアや部下たち、その家族を描くノンフィクション。『週刊現代』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/04/23

MARUZEN-YUSHODO

映画のタネとシカケ～なぜ映画を観てワクワクするのか?～

御木 茂則 著
玄光社
興奮と危機感を見せる映像演出、伝説のカーチェイスシーン…。スピルバーグ監督らの映画の名シーンを取りあげ、演出方法、カメラの位置や動きといった技術的な工夫を、絵コンテ、図を用いて詳細に解説する。

東京・中日新聞 2023/04/23

2023:3./ 127p
978-4-7683-1746-4
¥2,420〔税込〕

腿太郎伝説<人呼んで、腿伝>

深堀　骨 著
左右社
干からびた女の腿から生まれた腿太郎は、仲間と共に<鬼ケアイランド>へ向かう…。ノーブレーキで突っ走る文体に乱れ飛ぶ人間兵器、「桃太郎」を大胆に再構築した冒険活劇。

東京・中日新聞 2023/04/23

2023:2./ 282p
978-4-86528-360-0
¥2,090〔税込〕

地霊を訪ねる～もうひとつの日本近代史～

猪木　武徳 著
筑摩書房
半田銀山、佐渡、秩父鉱山、石見銀山…。日本近代史の舞台“鉱山”を旅し、その土地に沁み込んだ、今は亡き人々が発する無音の声に耳を傾ける歴史エッセイ。日本を改めて知る悦びに満ちた傑作紀行。『ちくま』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/04/23、読売新聞 2023/04/30

2023:1./ 366p,7p
978-4-480-85820-7
¥2,640〔税込〕

吼えろ道真～大宰府の詩～(集英社文庫　さ 56-3　)

澤田 瞳子 著
集英社
菅原道真が大宰府に流されて 5 カ月。左遷に怒り泣き喚いていた道真も、唐物の目利きをする愉しみを覚えた。ある日、京から唐物使の役人が来て…。ユーモラスな歴史小説。『Web 集英社文庫』配信を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/04/29

2022:10./ 248p
978-4-08-744444-5
¥660〔税込〕

一睡の夢～家康と淀殿～

伊東 潤 著
幻冬舎
「大坂の陣」の数年前。いまだ盤石でない徳川幕府を案じる家康。一方、豊臣家の威信凋落を肌身で感じる淀殿は、焦燥感を募らせていた。2 人は雌雄を決する最期の戦いに活路を開こうとするが…。『小説幻冬』連載に加筆修正。

東京・中日新聞 2023/04/30

2022:12./ 480p
978-4-344-04061-8
¥2,090〔税込〕

荷風の庭 庭の荷風

坂崎重盛 著

芸術新聞社

庭の草木、道端の雑草・雑木、変わりゆく川筋や町並みの景観また地理への深き想い。そして飽くなき好色衝動-。「理系感覚」という一本の補助線を引いて永井荷風の文芸世界を再発見し堪能する。『望星』連載に加筆。

東京・中日新聞 2023/04/30

2022:12./ 365p
978-4-87586-658-9
¥3,300〔税込〕

ドキュメント通貨失政～戦後最悪のインフレはなぜ起きたか～

西野 智彦 著

岩波書店

ニクソン・ショックを端緒に、狂乱物価、円の暴落、貿易赤字の「三重苦」に見舞われた日本経済。時の為政者や大蔵省、日銀のエリートは、なぜ事態を防げなかったのか。近代経済史に残る一大事件の舞台裏を精緻に検証する。

読売新聞 2023/04/02

2022:12./ 13p,296p
978-4-00-023903-5
¥2,750〔税込〕

職業としての政治(岩波文庫 白 209-7)

マックス・ヴェーバー 著

岩波書店

マックス・ヴェーバーがドイツ敗戦直後、自らが没する前年に行った講演の記録。政治という営みの本質、政治家がそなえるべき資質や倫理について情熱を傾けて語る。

読売新聞 2023/04/02

2020:9./ 163p,5p
978-4-00-390003-1
¥704〔税込〕

ネット情報におぼれない学び方(岩波ジュニア新書 964)

梅澤 貴典 著

岩波書店

確かな情報で考える術を学べば、鬼に金棒! ネット時代の学びに即した情報の探し方や使い方、さらにはアウトプットの仕方を、図書館司書の見地から丁寧に解説する。

読売新聞 2023/04/02

2023:2./ 14p,191p
978-4-00-500964-0
¥990〔税込〕

植物少女

朝比奈秋 著

朝日新聞出版

植物状態になった母とその娘。成長するにつれ、母の存在も大きく変化し…。「生きるとは何か」を問う、現役の医師だからこそ描けた真摯な母娘の物語。『小説トリッパー』掲載を加筆・修正。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 178p
978-4-02-251884-2
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

テキヤの掟～祭りを担った文化、組織、慣習～(角川新書　K-410)

廣末　登 著
KADOKAWA
商売の原初の形態といえるテキヤの露店。薄利の品を祭りで売る、縁日を支える人の生活とは? オーラルヒストリーを通じ、ヤクザと無関係な組織も多いのに混同されやすい独自のギルドの仕組みとテキヤの裏面史を明らかにする。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 261p
978-4-04-082442-0
¥1,034〔税込〕

愛蔵版<古典部>シリーズ<1> 氷菓・愚者のエンドロール

米澤　穂信 著
KADOKAWA
デビュー20 周年を記念し、著者の原点であり不動の人気を誇る<古典部>シリーズをまとめる。1 は「氷菓」「愚者のエンドロール」のほか、アニメオリジナルエピソードをリライトした「プールサイドにて」などを収録。

読売新聞 2023/04/02

2023:3./ 281p
978-4-04-112460-4
¥4,950〔税込〕

旅行の世界史～人類はどのように旅をしてきたのか～(星海社新書 244)

森 貴史 著
星海社
アレクサンドロス大王の東征、コロンブスの大西洋航海、ピアリーの北極点到達…。人類は、旅によって未知の世界に触れることで発展してきた。紀元前から現代に至る旅行像の変遷を明らかにし、人類と世界の関わりを俯瞰する。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 318p
978-4-06-530640-6
¥1,430〔税込〕

日本酒外交～酒サムライ外交官、世界を行く～(集英社新書 1150)

門司 健次郎 著
集英社
会食、パーティー、晩餐会…。外交と密接な関係の「食」を彩るコミュニケーションの潤滑油、酒。日本酒の魅力に取りつかれ、外交官として赴任した先々で「日本酒外交」を展開した著者が、日本酒の現状と未来について綴る。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 252p
978-4-08-721250-1
¥1,012〔税込〕

日本語ぽこりぽこり(小学館文庫 ヒ 6-1)

アーサー・ ビナード 著
小学館
地球を宇宙から見つめるように、日本語を遠くから捉えて解き明かす-。そんな視点を持つ在日米国詩人が、日本語と英語のはざまで見た言葉の面白さや日常生活の中での様々な発見をつづったユーモアあふれるエッセイ集。

読売新聞 2023/04/02

2023:2./ 269p
978-4-09-407231-0
¥704〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

予告された殺人の記録(新潮文庫)

ガブリエル・ガルシア＝マルケス 著

新潮社

閉鎖的な田舎町でほぼ三十年前に起きた、幻想とも見紛う殺人事件。凝縮されたその時空間に、差別や妬み、憎悪といった民衆感情、崩壊寸前の共同体のメカニズムを複眼的に捉えつつ、モザイクの如く入り組んだ過去の重層を、哀しみと滑稽、郷愁をこめて録す、熟成の中篇。

読売新聞 2023/04/02

1997:12./ 158p
978-4-10-205211-2
¥539〔税込〕

貴族とは何か～ノブレス・オブリージュの光と影～(新潮選書)

君塚 直隆 著

新潮社

貴族階級はいかに形成され、彼らがどのような社会的役割を担い、なぜ多くの国で衰退していったのか。古代ギリシャから現代イギリスまで、古今東西の貴族の歴史を丁寧に辿り、高貴なるものの責務を問い直す。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 292p
978-4-10-603894-5
¥1,760〔税込〕

地図記号のひみつ(中公新書ラクレ　784)

今尾恵介 著

中央公論新社

地図記号からは、明治から令和に至る日本社会の変貌が読み取れる。地図研究の第一人者が、温泉・寺社の記号、廃止された記号、外国の記号など、地図記号の奥深い世界を紹介する。『中央公論』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 237p
978-4-12-150784-6
¥968〔税込〕

うんこ文学～漏らす悲しみを知っている人のための 17 の物語～(ちくま文庫 か 71-4)

頭木 弘樹 編

筑摩書房

何十回、何百回と漏らしそうになりながら、なんとか持ちこたえた著者。ところが、ある日…。尾辻克彦の私小説「出口」をはじめ、生きるかなしみとしての排泄、漏らしたときのせつなさを見事に描ききった 17 の文学作品を収録。

読売新聞 2023/04/02

2023:2./ 356p
978-4-480-43866-9
¥968〔税込〕

待ち遠しい(毎日文庫　し 2-1)

柴崎 友香 著

毎日新聞出版

住み心地のいい離れの一軒家で一人暮らしを続ける 39 歳の春子。母屋に越してきた、夫を亡くしたばかりの 63 歳のゆかりと、裏手の家に暮らす、今どきの新婚 25 歳の沙希と出会い、「ご近所付き合い」が始まるが…。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 397p
978-4-620-21053-7
¥990〔税込〕

映画を追え～フィルムコレクター歴訪の旅～

山根 貞男 著
草思社
1988 年、小津安二郎監督の「突貫小僧」が知人のコレクターによって発見されて以来、失われていたはずの名画が思わぬところから出てきた。マニアやコレクター、接収されてロシアにあるフィルム等を訪ね歩いた 30 年の記録。

読売新聞 2023/04/02

2023:2./ 294p
978-4-7942-2614-3
¥2,640〔税込〕

とことんエナガ、シマエナガ

BIRDER 編集部 編
文一総合出版
衣食住から、かわいさの秘密、その裏に見え隠れするあざとさまで、エナガとシマエナガの「鳥となり」を、野鳥のスペシャリスト集団が総力を挙げて紹介します。かわいらしい写真も満載。鳴き声を聴ける QR コード付き。

読売新聞 2023/04/02

2022:11./ 127p
978-4-8299-7243-4
¥1,760〔税込〕

新時代を生きる劇作家たち～2010 年代以降の新旗手～

西堂行人 著
作品社
「失われた 30 年」特有の土壌から生まれた演劇であり、旺盛な批評=批判意識を発揮している劇作家たち。絶頂期にあるドラマティスト 7 人が、その演劇人生と創作への想いを熱く語る対談集。『テアトロ』ほか掲載を書籍化。

読売新聞 2023/04/02

2023:3./ 295p
978-4-86182-967-3
¥2,970〔税込〕

場所、それでもなお

ジョルジュ・ディディ=ユベルマン、江澤　健一郎 著
月曜社
「イメージ、それでもなお」の以前と以後に書かれたユダヤ人大虐殺をめぐるテクスト 3 篇を集成した論集。ユダヤ人絶滅収容所の<場所>をめぐる映画、写真の「イメージ」から、歴史の暗闇を想像-思考する。

読売新聞 2023/04/02

2023:1./ 189p
978-4-86503-159-1
¥2,860〔税込〕

早慶 MARCH 大激変～「大学序列」の最前線～(朝日新書　901)

小林哲夫 著
朝日新聞出版
早慶 MARCH の「ブランド力」は親世代とは一変した! 7 大学の難易度、就職力、研究力、学生気質、コロナ禍での学生支援、ジェンダーの取り組みなどを取り上げ、現代社会でどのような役割を担っているのかを分析する。

読売新聞 2023/04/09

2023:3./ 347p
978-4-02-295210-3
¥1,089〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

あわのまにまに

吉川　トリコ 著
KADOKAWA
“好きな人とずっといっしょにいるために”、あのとき、あの人は何をした? 10 年刻みでさかのぼりながら明かされる、ある家族の軌跡。逆クロニクル・サスペンス。『小説野性時代』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/04/09

2023:2./ 317p
978-4-04-112156-6
¥1,870〔税込〕

父ではありませんが～第三者として考える～

武田 砂鉄 著
集英社
「子どものいないあなたにはわからない」と言われるけれど…。父ではないライターが、第三者だからこそ見えてくる「家族」をめぐる言説への違和感に迫る。『青春と読書』連載を加筆修正し単行本化。

読売新聞 2023/04/09

2023:1./ 227p
978-4-08-788081-6
¥1,760〔税込〕

肉とすっぽん～日本ソウルミート紀行～(文春文庫　ひ 20-14)

平松 洋子 著
文藝春秋
うまい肉が生まれる現場にはソウルがある! 害獣を地域の恵みに変えた島根県美郷町モデル、馬肉文化を守り抜いた熊本の挑戦…それぞれの土地で培われた「知恵と技」を紹介。“食の未来図”をまるごと味わうノンフィクション。

読売新聞 2023/04/09

2023:3./ 269p
978-4-16-792015-9
¥836〔税込〕

百合小説コレクション wiz(河出文庫　ん 6-1)

深緑 野分／斜線堂 有紀／宮木 あや子 著
河出書房新社
恋慕、友愛、情念…。大きなうねりを見せる百合小説の世界に名手たちが挑む。“百合を創る”営為を問う「運命」、ある写真が記憶と今を結ぶ「エリアンタス・ロバートソン」など、百合小説の精華 8 篇を収録。

読売新聞 2023/04/09

2023:2./ 413p
978-4-309-41943-5
¥1,100〔税込〕

私たちが記したもの

チョ・ナムジュ 著
筑摩書房
チョ・ナムジュが、女性たちの直面する「今」を描く短編集。介護施設にいる姉を見舞う妹の思いを描く「梅の木の下」、父の家出をユーモラスに描く「家出」、コロナ禍での小学生の恋を描いた「初恋 2020」など全 7 編を収録。

読売新聞 2023/04/09

2023:2./ 262p
978-4-480-83219-1
¥1,760〔税込〕

習慣と脳の科学～どうしても変えられないのはどうしてか～

ラッセル・A・ポルドラック 著
みすず書房
習慣的行動の性質やその形成メカニズムを、認知神経科学の研究者が脳神経科学や心理学に基づいて解説。さらに、習慣を変えるための裏付けある方法や、応用の見込みのある研究成果を紹介する。

読売新聞 2023/04/09

2023:2./ 7p,261p,19p
978-4-622-09588-0
¥3,960〔税込〕

忍者学大全

山田　雄司 編
三重大学国際忍者研究センター 著
東京大学出版会
忍術書の成立、伝承された忍術の修行法、忍者文学・マンガ・映画、忍者の医・薬学・食、火術、武具、伊賀者の成立、公儀隠密・御庭番と江戸期の忍びなど、多様な角度から忍者・忍術学を考察する。忍者学用語集も収録。

読売新聞 2023/04/09、産経新聞 2023/04/23

2023:2./ 22p,525p,2p
978-4-13-053303-4
¥8,250〔税込〕

半導体戦争～世界最重要テクノロジーをめぐる国家間の攻防～

クリス・ミラー 著
ダイヤモンド社
半導体は石油以上の「戦略的資源」だった-。いびつな業界構造、発展の歴史、入り組んだ国家間の思惑を、多くの科学者、技術者、CEO、政府官僚へのインタビューに基づき、鮮やかに解説する。

読売新聞 2023/04/09、日本経済新聞 2023/04/22

2023:2./ 551p
978-4-478-11546-6
¥2,970〔税込〕

親子で楽しむ星空の教科書

渡部 潤一／渡部 好恵 著
講談社
流れ星はどこからくるの? 月は大きくなったり小さくなったりする? どうして星はキラキラ輝いているの? 夜空の「なぜ?」やふしぎに Q&A 形式で答える。月ごとの星図も収録。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 143p
978-4-06-530760-1
¥1,650〔税込〕

青春クロスピア

唯川　恵 著
集英社
読売新聞 2023/04/16

1985:1.
978-4-08-610724-2
¥331〔税込〕

「おかえり」と言える、その日まで～山岳遭難捜索の現場から～

中村 富士美 著
新潮社
今も、どこかの山には、家に帰れずにいる人が助けを待っている。彼らを迎えに行くために、今日も捜索を続ける。その実際の様子を、民間の山岳遭難捜索チームの代表を務める著者が 6 つのエピソードで紹介する。

読売新聞 2023/04/16

2023:4./ 155p
978-4-10-355011-2
¥1,540〔税込〕

ボブ・ディラン(新潮新書　986)

北中 正和 著
新潮社
ノーベル文学賞を受賞したミュージシャン、ボブ・ディラン。時に剽窃まがいと批判されても、なぜ高く評価されるのか? 音楽評論の第一人者が、数々の名曲の歴史的背景を分析し、ロック界最重要アーティストの本質に迫る。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 190p
978-4-10-610986-7
¥836〔税込〕

「将軍」の日本史(中公新書ラクレ　789)

本郷和人 著
中央公論新社
幕府のトップとして武士を率いる将軍。だが強力なリーダーシップを発揮した大物だけでなく、くじ引きで選ばれた将軍や、何もしなかったひ弱な将軍もいた。さまざまな史実、歴代の将軍たちを検討し、日本の権力構造の謎に挑む。

読売新聞 2023/04/16

2023:3./ 229p
978-4-12-150789-1
¥946〔税込〕

進化的人間考

長谷川　眞理子 著
東京大学出版会
大きすぎる脳、火を使う調理、言語による伝達、文化の蓄積、様々な性差…。進化の視点からヒトの性質や社会のあり方などを考察する。『UP』連載に既発表論文を改稿したものを加えて書籍化。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 3p,180p,4p
978-4-13-063955-2
¥2,420〔税込〕

負動産地獄～その相続は重荷です～(文春新書　1398)

牧野 知弘 著
文藝春秋
誰も住む予定がなく、借り手も買い手も現れない-。「いらない相続」に悩まされる新・相続問題が多発している。不動産価値観の激変に伴い空き家化していく「負動産」の実態を伝え、「負の相続」にならないための解決策を提言。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 239p
978-4-16-661398-4
¥1,045〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

夏のロケット(文春文庫)

川端 裕人 著
文芸春秋
火星小説マニアだった“ぼく”は新聞社の科学部記者になり、過激派ミサイル事件を追っている。事件は高校時代の仲間へと彼を導く

読売新聞 2023/04/16

2002:5./ 396p
978-4-16-766201-1
¥825〔税込〕

日の丸コンテナ会社 ONE はなぜ成功したのか?

幡野 武彦／松田 琢磨 著
日経ＢＰ社
お荷物事業部門が統合されて生まれた会社の利益が 2 年連続 2 兆円に! シンガポールという出島で奇跡の物語を繰り広げている、コンテナ輸送を手がける海運会社 ONE を取り上げ、その発足から快進撃に至る歴史を描く。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 229p
978-4-296-00137-8
¥1,980〔税込〕

ドラキュラ ドラキュラ～吸血鬼小説集～　新装版(河出文庫　た 4-53)

種村 季弘 編
河出書房新社
吸血鬼小説のミニアチュール・アンソロジー。ジョン・ポリドリ「吸血鬼」、コナン・ドイル「サセックスの吸血鬼」、H.C.アルトマン「ドラキュラ ドラキュラ」など、全 11 篇を精選して収録。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 253p
978-4-309-46776-4
¥968〔税込〕

白ゆき紅ばら

寺地はるな 著
光文社
行き場のない母子を守る「のばらのいえ」から、高校卒業と同時に逃げ出した祐希。10 年後、幼少のころから一心同体だった紘果を置いてきたことをずっと後悔してきた祐希は、「のばらのいえ」に戻る決意をするが…。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 241p
978-4-334-91515-5
¥1,760〔税込〕

長くて短い一年～山川方夫ショートショート集成～(ちくま文庫　や 61-2)

日下　三蔵 編
山川　方夫 著
筑摩書房
夭折の天才・山川方夫のショートショート集成第 2 弾。第 2 ショートショート集の表題作に加え、『EQMM』連載のエッセイをまとめた「トコという男」を完全収録。小林信彦による「山川方夫のこと」なども掲載する。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 482p
978-4-480-43861-4
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

誉れの剣<1> つわものども(エクス・リブリス・クラシックス)

イーヴリン・ウォー 著

白水社

第二次大戦勃発に旧家出身のガイは、今こそ大義に身を捧げる時と、伝統ある連隊に入隊するが…。戦争に巻き込まれた人々の悲惨かつ滑稽な状況を描いた、イーヴリン・ウォーの名作<誉れの剣>三部作開幕。

読売新聞 2023/04/16

2020:8./ 364p
978-4-560-09913-1
¥3,740〔税込〕

誉れの剣<2> 士官たちと紳士たち(エクス・リブリス・クラシックス)

イーヴリン・ウォー 著

白水社

アフリカから帰国したガイはコマンド部隊に編入され、クレタ島攻防戦に参加するが…。戦争の愚かさ、恐ろしさと英国社会の変貌を描いた、イーヴリン・ウォーの畢生の大作<誉れの剣>三部作。

読売新聞 2023/04/16

2021:11./ 400p
978-4-560-09914-8
¥4,180〔税込〕

誉れの剣<3> 無条件降伏(エクス・リブリス・クラシックス)

イーヴリン・ウォー 著

白水社

激戦地クレタ島脱出から 2 年、英国で無為な日々を過ごすガイは開戦時に抱いた大義を失っていた…。戦争のグロテスクな現実と幻滅を描いた、イーヴリン・ウォーの名作<誉れの剣>三部作。

読売新聞 2023/04/16

2023:1./ 388p
978-4-560-09915-5
¥4,620〔税込〕

侮るな東京の山～新編奥多摩山岳救助隊日誌～(ヤマケイ文庫)

金 邦夫 編

山と渓谷社

危険性が低いと考えられがちだが、谷は深く尾根は急峻で、遭難が後を絶たない奥多摩。奥多摩エリアの山岳遭難救助に携わってきた著者の救助活動を記録した「奥多摩登山考」など 3 冊から、現代にも通じる遭難事例を選んで構成。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 318p
978-4-635-04955-9
¥1,100〔税込〕

夢と一生(河合ブックレット 42)

渡辺 京二 著

河合文化教育研究所

敗戦と過酷な二度の冬越え、大連日本人引揚対策協議会でのコミュニズムとの出会い、熊本への引揚げ、旧制五高入学と日本共産党入党…。評論家・渡辺京二がその半生を語る。2022 年に行われたインタビューを書籍化。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 97p
978-4-7772-0468-7
¥1,100〔税込〕

ニュースピークからサイバースピークへ～ソ連における科学・政治・言語～

スラーヴァ・ゲローヴィチ 著
名古屋大学出版会
統制的国家において、科学はいかにふるまうのか。厳密で普遍的な科学言語として期待されたサイバネティックスが、ソ連科学界を席巻した末に、社会の科学的管理をめざして体制化していく道程を描きだす。

読売新聞 2023/04/16

2023:2./ 9p,276p,70p
978-4-8158-1115-0
¥6,930〔税込〕

シャルトルの彫刻たち～聖母の衣の裾に触れる～

高野禎子 著
八坂書房
シャルトル大聖堂の壁面を飾る印象的な「石の衣」の数々。ステンドグラス研究者が、中世の石工たちの秀作から 16 の彫像を選出。それぞれを起点にした大聖堂の楽しみ方を図版を交えて解説する。『清泉文苑』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/04/16

2023:3./ 205p,9p
978-4-89694-338-2
¥2,640〔税込〕

ヒロシマ・ノート　改版(岩波新書　青版 F-27)

大江　健三郎 著
岩波書店
1963 年夏、現地を訪れた著者の見たものは、十数年後のある日突如として死の宣告をうける被爆者たちの“悲惨と威厳”に満ちた姿であり医師たちの献身であった。著者と広島とのかかわりは深まり、その報告は人々の胸を打つ。平和の思想の人間的基盤を明らかにし、現代という時代に対決する告発の書。

読売新聞 2023/04/23

2021:9./ 206p
978-4-00-415027-5
¥902〔税込〕

万延元年のフットボール(講談社文芸文庫)

大江 健三郎 著
講談社
苦渋に満ちた登場人物たちが、四国の谷間の村をさして軽快に出発した。万延元年の村の一揆をなぞるように、神話の森に暴動が起る。幕末から現代につなぐ民衆の心をみごとに形象化し、戦後世代の切実な体験と希求を結実させた画期的長篇。

読売新聞 2023/04/23

1988:4./ 491p
978-4-06-196014-5
¥2,090〔税込〕

取り替え子(チェンジリング)(講談社文庫)

大江　健三郎 著
講談社
国際的な作家古義人(こぎと)の義兄で映画監督の吾良(ごろう)が自殺した。動機に不審を抱き鬱々と暮らす古義人は悲哀から逃れるようにドイツへ発つが、そこで偶然吾良の死の手掛かりを得、徐々に真実が立ち現れる。

読売新聞 2023/04/23

2004:4./ 388p
978-4-06-273990-0
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

カラー図説 生命の大進化 40 億年史～恐竜の時代-誕生、繁栄、そして大量絶滅～<中生代編>(ブルーバックス　B-2204)

土屋 健 著

講談社

陸・海・空に君臨した、恐竜、魚竜、翼竜など様々な巨大生物。だがその繁栄は、隕石の衝突によって、ある日突然終わりを告げ…。中生代の始まりから末までの生命進化の物語を、多数の化石やイラストとともに綴る。

読売新聞 2023/04/23

2023:2./ 358p
978-4-06-530975-9
¥1,870〔税込〕

つけびの村～山口連続殺人放火事件を追う～(小学館文庫 た 43-1)

高橋 ユキ 著

小学館

一夜に 5 人の村人が殺害された集落。犯人の家に貼られた川柳「つけびして煙り喜ぶ田舎者」は<戦慄の犯行予告>として世間を騒がせたが…。山口連続殺人放火事件を追いかけるルポルタージュ。書き下ろし「村のその後」を追加。

読売新聞 2023/04/23

2023:3./ 333p
978-4-09-407235-8
¥792〔税込〕

死者の奢り・飼育　改版(新潮文庫　お-9-1)

大江　健三郎 著

新潮社

死体処理室の水槽に浮沈する死骸群に託した屈折ある抒情「死者の奢り」、黒人兵と寒村の子供たちとの無残な悲劇「飼育」など全 6 編を収録した、ノーベル賞作家の初期作品集。

読売新聞 2023/04/23

2013:4./ 303p
978-4-10-112601-2
¥737〔税込〕

文学の淵を渡る(新潮文庫　お-9-24)

大江 健三郎／古井 由吉 著

新潮社

鷗外から中上健次まで百年にわたる日本の短篇、ギリシア悲劇、ムージルら世界の近現代文学…。半世紀を超えて、小説の最前線を走り続けてきた大江健三郎と古井由吉が語る、文学の過去・現在・未来。スリリングな対談集。

読売新聞 2023/04/23

2018:1./ 275p
978-4-10-112624-1
¥649〔税込〕

杏子・妻隠　改版(新潮文庫)

古井 由吉 著

新潮社

現代の青春を浮彫りにする芥川賞受賞作「杏子」。都会に住まう若い夫婦の日常の周辺にひろがる深淵を巧緻な筆に描く「妻隠」。卓抜な感性と濃密な筆致で生の深い感覚に分け入り、現代文学の新地平を切り拓いた著者の代表作二編を収録する。

読売新聞 2023/04/23

2004:3./ 264p
978-4-10-118501-9
¥605〔税込〕

辻(新潮文庫　ふ-8-6)

古井　由吉 著

新潮社

父と子。男と女。人は日々の営みのなかで、あるとき辻に差しかかる。日常に漂う性と業の果て、破綻へと至る際で、小説は神話を変奏する。古井文学がたどり着いた、ひとつの極点。濃密にして甘美な 12 の連作短篇。

読売新聞 2023/04/23

2014:6./ 366p
978-4-10-118506-4
¥649〔税込〕

ゆらぐ玉の緒

古井 由吉 著

新潮社

陽炎の立つ中で感じるのも、眠りの内のゆらめきの、余波のようなものか…。往還する時間のあわいに浮かぶ生の輝き、ひびき渡る永劫。一生を照らす、生涯の今を描く古井文学の集大成。全 8 篇を収録。『新潮』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/04/23

2017:2./ 216p
978-4-10-319211-4
¥1,870〔税込〕

われもまた天に

古井 由吉 著

新潮社

自分が何処の何者であるかは、先祖たちに起こった厄災を我身内に負うことではないのか。現代日本文学をはるかに照らす古井由吉の最後の小説集。表題作ほか「雛の春」、未完の「遺稿」など全 4 編を収録。『新潮』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/04/23

2020:9./ 139p
978-4-10-319212-1
¥2,200〔税込〕

金子みすゞと詩の王国(文春文庫　ま 44-1)

松本 侑子 著

文藝春秋

詩人・金子みすゞの希望と挫折の生涯、大正デモクラシーの理想から生まれた童謡詩の盛衰をたどりながら、珠玉の名詩 60 編を文学の視点から読解する新しいみすゞ論。NHK「100 分 de 名著」テキストに加筆。

読売新聞 2023/04/23

2023:3./ 348p
978-4-16-792017-3
¥880〔税込〕

古井由吉自撰作品<5>　槿/眉雨

古井 由吉 著

河出書房新社

80 年代の逸脱と不安の裡で進行していた危機をエロスと幻影と謎を柱に実験的な長篇に仕立てた著者最大の問題作「槿」、巧緻な文体の限りを尽くした緊密な短篇集「眉雨」を収録。保坂和志による解説も掲載。

読売新聞 2023/04/23

2012:5./ 460p
978-4-309-70995-6
¥3,960〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

腐ったテレビに誰がした?〜「中の人」による検証と考察〜

鎮目博道 著

光文社

ニュースが信頼をなくしたのは「レギュラーコメンテーター」がいるから。海外ロケには「不思議なお約束」が…。テレビ局に 27 年間在籍した OB が、「赤裸々なテレビ業界の内部事情」を情報開示する。

読売新聞 2023/04/23

2023:2./ 205p
978-4-334-95363-8
¥1,870〔税込〕

父から娘への 7 つのおとぎ話

アマンダ・ブロック 著

東京創元社

レベッカは、かつて BBC の子ども番組に出演する人気俳優だった父のレオに 20 年近く会っていない。ある日、男性記者が取材でレオの行方を尋ねてきた。レベッカは父が書いたというおとぎ話を手がかりに彼を探そうとするが…。

読売新聞 2023/04/23

2023:1./ 453p
978-4-488-01121-5
¥2,750〔税込〕

電車の窓に映った自分が死んだ父に見えた日、スキンケアはじめました。

伊藤　聡 著

平凡社

男がスキンケアなんて恥ずかしい…。そう思っていたアラフィフ会社員が、あれよあれよと美容沼にハマっていき…。男性美容とセルフケアをめぐる、笑いと感動の体験記。

読売新聞 2023/04/23

2023:2./ 206p
978-4-582-83917-3
¥1,980〔税込〕

谷崎潤一郎の世界史〜『陰翳礼讃』と 20 世紀文化交流〜

西村将洋 著

勉誠出版

谷崎潤一郎「陰翳礼讃」はどのような書物なのか。谷崎はそこにどんな思いを込めたのか。なぜ今も世界各国で読まれ続けているのか。「陰翳礼讃」を入口として、日露戦争前後から現代へと至る 20 世紀文化交流の歴史を描出する。

読売新聞 2023/04/23

2023:1./ 6p,505p
978-4-585-39020-6
¥5,280〔税込〕

カタストロフか生か〜コロナ懐疑主義批判〜

ジャン＝ピエール・デュピュイ 著

明石書店

新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、「生政治」や「剝き出しの生」といった概念のもと、パンデミックの深刻さを矮小化するコロナ懐疑主義。気鋭の哲学者がパンデミックにおける知識人たちの欺瞞を暴き出す。

読売新聞 2023/04/23

2023:1./ 289p
978-4-7503-5497-2
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

おばけのこ

テルヒ エーケボム 著
求龍堂
光を求めてさまようおばけたちがひそむ暗い森。そのそばで一人さみしく暮らす女性のまえに、小さなおばけのこがあらわれて…。モノクロームの世界のエッセンスが感じられる、静かな絵 200 点超を中心に進行する物語。

読売新聞 2023/04/23

2023:2./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-7630-2308-7
¥3,520〔税込〕

就活の社会学～大学生と「やりたいこと」～

妹尾　麻美 著
晃洋書房
なぜ大学生は「やりたいこと」や熱意を問われ、語るようになっていくのか? 労働市場媒介者が果たす役割と大学生の状況の定義を明らかにし、就職情報サービスと行為によって成り立つ「就活」の仕組みを解明する。

読売新聞 2023/04/23

2023:1./ 5p,222p,19p
978-4-7710-3693-2
¥4,620〔税込〕

語学の天才まで１億光年

高野 秀行 著
集英社インターナショナル
インドで身ぐるみ剝がされ英語が上達、麻薬王のアジトでビルマ語学習…。学んだ言語は 25 以上。辺境ノンフィクション作家の超ド級語学体験記。語学上達のヒントも満載。note 連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2023/04/23

2022:9./ 334p
978-4-7976-7414-9
¥1,870〔税込〕

私たちは幸運だった～あるユダヤ人家族の離散と再会の物語～

ジョージア・ハンター 著
水声社
1939 年ドイツのポーランド侵攻により開戦した第二次世界大戦。ラドムに暮らすユダヤ人一家は、徴兵され、シベリアの強制収容所へ送られ散り散りになるが…。迫害を乗り越え再会するまでを描くノンフィクション・ノベル。

読売新聞 2023/04/23

2023:1./ 370p
978-4-8010-0671-3
¥3,850〔税込〕

人類滅亡の科学～「滅びのシナリオ」と「回避する方法」～

ナショナル ジオグラフィック 編
マーシャル・ブレイン 著
日経ナショナルジオグラフィック社
ドローン襲来、核爆弾、電力網攻撃、小惑星の衝突、巨大津波、ロボットの反乱…。人為的災害、自然災害、SF の世界の災害といった実際に人類が直面するかもしれない 25 篇の「滅びのシナリオ」と「回避する方法」を紹介する。

読売新聞 2023/04/23

2023:2./ 9p,278p
978-4-86313-547-5
¥3,960〔税込〕

DESIGN SCIENCE<01>

THE DESIGN SCIENCE FOUNDATION 編

学芸みらい社

人間と環境とものごとの関係を円滑に築く役割がある「デザイン」を科学と捉え、その能力を解き明かす。01 は、面出薫「照明の科学とデザイン」、神山昭男「脳とこころとデザイン科学」等を収録。日英対訳付き。

読売新聞 2023/04/23

2023:4./ 219p
978-4-86757-023-4
¥4,400〔税込〕

セクシィ・ギャルの大研究～女の読み方・読まれ方・読ませ方～(岩波現代文庫　学術 217)

上野　千鶴子 著

岩波書店

もの欲しげな目に半開きの唇、しなりくねらせた肢体。世に流布するお色気広告を、上野千鶴子がズバリ分析。キケンで快感一杯の処女作。

読売新聞 2023/04/30

2009:5./ 278p
978-4-00-600217-6
¥1,100〔税込〕

チベットのモーツァルト(講談社学術文庫)

中沢 新一 著

講談社

密教の実践的研究を通して、チベット高原の仏教思想と現代思想が幸福な邂逅をとげる－。物質に対する執着に眼を曇らされた闇を抜け、いまだ顕れ出ることのない純粋な未発の光に満ちたもう一つの夜を渡る旅へ。

読売新聞 2023/04/30

2003:4./ 332p
978-4-06-159591-0
¥1,221〔税込〕

幕末ダウンタウン(講談社文庫　よ 48-1)

吉森 大祐 著

講談社

噺家・桂文枝からお笑いの世界へ誘われた新撰組隊士・濱田精次郎。寄席はいろんな人間が出入りする情報の宝庫。何かが転がっているかも…。精次郎が迷い始めたところへ、長州藩士とつながりがありそうな芸妓が現れ…。

読売新聞 2023/04/30

2023:3./ 271p
978-4-06-530938-4
¥792〔税込〕

戦争の地政学(講談社現代新書　2698)

篠田 英朗 著

講談社

海を重視する「英米系地政学」と圏域思想を特徴とする「大陸系地政学」という 2 つの全く異なる地政学に着目して、この 500 年間に起きた戦争を分析。国際情勢の動向を構造的に把握するための視点を提供する。

読売新聞 2023/04/30

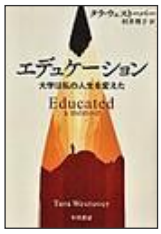
2023:3./ 211p
978-4-06-531283-4
¥990〔税込〕

平和の追求～18 世紀フランスのコスモポリタニズム～

川出　良枝 著
東京大学出版会
戦争が絶えない 18 世紀のフランス。平和を求め続けた人々の世界秩序構想とは、いかなるものだったのか。啓蒙の時代に生み出されたコスモポリタニズム(世界市民主義)の多様な相貌を明らかにし、その意義を捉え直す。

読売新聞 2023/04/30

2023:1./ 7p,321p,78p
978-4-13-030186-2
¥6,380〔税込〕



エデュケーション～大学は私の人生を変えた～(ハヤカワ文庫 NF 593)

タラ・ウェストーバー 著
早川書房
モルモン教サバイバリストの両親のもとに生まれたタラは、学校にも行けず、医療機関も受診せずに育つ。10 代半ばに、大学に通うことを決意し、独学で大学資格試験に合格し…。壮絶な人生の回顧録。

読売新聞 2023/04/30

2023:2./ 621p
978-4-15-050593-6
¥1,496〔税込〕

温泉ごはん～旅はおいしい!～(河出文庫　や 46-1)

山崎 まゆみ 著
河出書房新社
32 か国、1000 か所以上の温泉に入った著者が、北海道から沖縄、海外まで、名湯湧く地を訪れて味わった絶品料理&名物の数々や、そこで出会った多くの人々との交流を綴ったぬくぬくエッセイ。『味の手帖』連載を文庫化。

読売新聞 2023/04/30

2023:4./ 237p
978-4-309-41954-1
¥891〔税込〕

構造と力～記号論を超えて～

浅田　彰 著
勁草書房
レヴィ＝ストロースらの構造主義の方法を定位したうえでポスト構造主義の展望を示し、ドゥルーズ＝ガタリらの理論からその理路を探る。現代思想の鮮明な地図を描き、当時 26 歳の著者による大胆かつ軽妙な筆致で時代の空気を捉えて空前のベストセラーとなった本書。1983 年の刊行から現在まで多くの読者に読まれ、刷を重ねている。

読売新聞 2023/04/30

1983:9./ 240p
978-4-326-15128-8
¥2,420〔税込〕

政治家の酒癖～世界を動かしてきた酒飲みたち～(平凡社新書　1025)

栗下　直也 著
平凡社
宴席をめぐって人心を掌握する田中角栄、酒を飲ませて部下の本心をさぐるピョートル大帝、飲みすぎて周囲の信頼を損ねたエリツィン…。古今東西の政治家と酒にまつわる奇想天外なエピソードをユーモラスにつづる。

読売新聞 2023/04/30

2023:3./ 198p
978-4-582-86025-2
¥968〔税込〕

シャーロック・ホームズ人物解剖図鑑

えのころ工房 著
エクスナレッジ
シャーロック・ホームズの原作小説に登場する人物たちに焦点をあて、書かれている描写に出来るだけ忠実に、時には映像化作品などの力を借りつつ、独自の解釈を加えながらヴィジュアル化。物語のあらすじや注目ポイントも収録。

読売新聞 2023/04/30

2023:2./ 221p
978-4-7678-3114-5
¥1,980〔税込〕

パンツをはいたサル～人間は、どういう生物か～　新版

栗本　慎一郎 著
現代書館
ヒトの社会に充満する混乱を解きほぐすために、あらゆる学問の障壁を取り払い、「過剰」「蕩尽」「パンツ」というキーワードで快刀乱麻を断ち、ヒトの本質を解明する。1981 年光文社刊の新版。

読売新聞 2023/04/30

2005:4./ 222p
978-4-7684-6899-9
¥1,980〔税込〕

クィアする現代日本文学～ケア・動物・語り～

武内 佳代 著
青弓社
小説を読むとは、どのような行為なのか。現代の小説は何を語りかけるのか-。金井美恵子、村上春樹、田辺聖子、松浦理英子、多和田葉子の作品を、クィア批評や批評理論を縦横に組み合わせて読み解く。

読売新聞 2023/04/30

2023:1./ 286p
978-4-7872-9271-1
¥3,300〔税込〕

鑑定学への招待～「偽」の実態と「観察」による判別～(芸術選書)

杉本 欣久 著
中央公論美術出版
研究の世界でタブー視されてきた、美術作品をめぐる「鑑定」の入門書。江戸から大正までの資料に基づき、「偽」づくりの実態を明らかにし、「真」「偽」を炙り出すための「比較」という方法論について述べる。

読売新聞 2023/04/30

2023:3./ 212p
978-4-8055-1501-3
¥3,520〔税込〕

DRINK～あなたが口にする「飲み物」のウソ・ホント～

アレクシス・ウィレット 著
白揚社
グラス 1 杯のワインは健康に良い? 乳酸菌が生きて腸まで届くって本当? エナジードリンクは集中力を上げる? 水、ミルク、お茶、コーヒー、炭酸飲料からお酒まで、身の回りにあふれる「飲み物」のウソ・ホントを徹底解説。

読売新聞 2023/04/30

2023:4./ 350p,5p,46p
978-4-8269-0241-0
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

古文書の科学～料紙を複眼的に分析する～

渋谷 綾子／天野 真志 編
文学通信
古文書はどのような紙に書かれていて、そこから何がわかるのか? 古文書研究に自然科学を結びつける「古文書の科学」のガイドブック。古文書に残された痕跡から、肉眼では見えない部分にアプローチする方法を紹介していく。

読売新聞 2023/04/30

2023:3./ 237p
978-4-86766-004-1
¥2,090〔税込〕

闘う舞踊団

金森穣 著
夕書房
17 歳で渡欧、巨匠ベジャールらの寵愛を受けた舞踊家が日本で選んだのは、茨の道で-。新潟で日本初の劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata を設立、踊り、創り、率いてきた金森穣が 18 年の軌跡を綴る。

読売新聞 2023/04/30

2023:2./ 260p
978-4-909179-09-8
¥2,200〔税込〕

医の変革(岩波新書 新赤版 1959)

春日 雅人 著
岩波書店
AI、IoT、ロボティクスなどの技術革新は、医学・医療にどのような進歩をもたらすのか。現在抱えている諸問題の克服に向けてどのように活用できるのか。各分野の専門家が今後を展望する。

日本経済新聞 2023/04/01

2023:1./ 6p,230p
978-4-00-431959-7
¥946〔税込〕

アウシュヴィッツを志願した男～ポーランド軍大尉、ヴィトルト・ピレツキは三度死ぬ～

小林 公二 著
講談社
「死の淵」アウシュヴィッツに 948 日間潜入し、かつ脱走を果たしたポーランド軍将校が見た殺戮の真実とは。ヒトラーに戦いを挑み、スターリンに反旗を翻し、祖国に命を奪われたポーランド軍大尉ピレツキの生涯を描く。

日本経済新聞 2023/04/01

2015:5./ 269p
978-4-06-219493-8
¥1,870〔税込〕

永遠の映画大国イタリア名画 120 年史(集英社新書 1154)

古賀 太 著
集英社
数々の名作を生み、世界の映画史に大きな影響を与えてきたイタリア映画の歴史を、19 世紀から現代まで通覧。約 800 作品を解説し、その豊かな文化的土壌を明らかにする。

日本経済新聞 2023/04/01

2023:2./ 253p
978-4-08-721254-9
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

トヨトミの野望～小説・巨大自動車企業～(小学館文庫　か 52-1)

梶山　三郎　著

小学館

愛知県豊臣市に本社を構える世界的企業、トヨトミ自動車。創業家とはなんの関係もないサラリーマン社長・武田は、その豪腕で世界に先駆けてハイブリッドカーの量産に挑戦し…。世界と戦う企業の経済戦争を描いたフィクション。

日本経済新聞　2023/04/01

2019:10./ 515p
978-4-09-406702-6
¥935〔税込〕

熱い心が人間力を生む～複眼経営者「石橋信夫」に学ぶ～

樋口　武男　著

文藝春秋

大和ハウス工業を一代で一兆円企業に育て上げた伝説の経営者・石橋信夫。彼を師と仰ぎ「同行二人」で歩んできた著者が、各界有志とその知恵と精神について語り合う。『週刊文春』連載の対談を単行本化。

日本経済新聞　2023/04/01

2014:6./ 258p
978-4-16-390049-0
¥1,650〔税込〕

オックスフォード&ケンブリッジ大学さらに世界一「考えさせられる」入試問題～まだ、あなたは自分が利口だと思いますか?～(河出文庫　フ 15-2)

ジョン・ファーンドン／小田島　恒志　著

河出書房新社

あなたならどうやって警察に知られずに人に毒を盛りますか? 何が強い女性を作りますか? ケンブリッジ大学とオックスフォード大学の入試問題を、ユーモアあふれる解答例とともに紹介します。

日本経済新聞　2023/04/01

2018:4./ 250p
978-4-309-46468-8
¥902〔税込〕

エンタメ小説家の失敗学～「売れなければ終わり」の修羅の道～(光文社新書　1239)

平山瑞穂　著

光文社

小説家を志望し実際にデビューまで至る才人のなかでも、「食っていける」のはごく一握り。そんな修羅の世界に足を踏み入れたらどのような道を辿るのか? 日本ファンタジーノベル大賞作家が商業出版の崖っぷちを赤裸々に語る。

日本経済新聞　2023/04/01

2023:1./ 259p
978-4-334-04646-0
¥968〔税込〕

作家超サバイバル術!

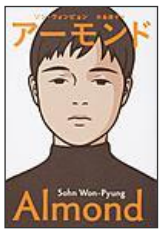
中山七里／知念実希人／葉真中顕　著

光文社

今をときめく人気作家 3 人が、「作家と新人賞」「作家とおカネ」「作家と映像化」「作家と SNS」など 10 のテーマを、それぞれの経験をもとに綴る。特別鼎談も収録。『小説宝石』連載を単行本化。

日本経済新聞　2023/04/01

2022:12./ 273p
978-4-334-95352-2
¥1,650〔税込〕



アーモンド

ソン　ウォンピョン 著
祥伝社
アーモンド(扁桃体)が人より小さく、怒りや恐怖を感じることができないユンジェ。彼の前にもうひとりの“怪物”が現れて…。他人の感情がわからない少年と、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年、2 人の成長物語。

日本経済新聞 2023/04/01

2019:7./ 267p
978-4-396-63568-8
¥1,760〔税込〕

三十の反撃

ソン・ウォンピョン 著
祥伝社
大企業の非正規社員として働く平凡な女性キム・ジへは、世の中にも会社にも期待することを諦めていた。だが、一癖ある同僚ギュオクとの出会いにより社会への小さな反撃を始める。次第にジへは自分らしい生き方を模索し…。

日本経済新聞 2023/04/01

2021:8./ 298p
978-4-396-63612-8
¥1,760〔税込〕

他人の家

ソン・ウォンピョン 著
祥伝社
格安の超優良物件だが、4 人で違法にルームシェアをする部屋で暮らすことになったシヨン。そんなある日、オーナーが急遽部屋を訪れ…。表題作をはじめ、ミステリー、近未来 SF、小説「アーモンド」の番外編など全 8 編を収録。

日本経済新聞 2023/04/01

2023:2./ 266p
978-4-396-63638-8
¥1,870〔税込〕

ザ・チョイス～複雑さに惑わされるな!～

エリヤフ・ゴールドラット、三本木　亮 著
ダイヤモンド社
「何が本当に重要か」を見極めることができれば、企業はパフォーマンスの向上を成し遂げられる。「ものごとはシンプルである」「人は善良である」という信念の根本的なあり方を説明。組織、そして人生の本質を解き明かす物語。

日本経済新聞 2023/04/01

2008:11./ 287p
978-4-478-00665-8
¥1,760〔税込〕

ザ・ゴール　コミック版

ダイヤモンド社
世界の生産管理やサプライチェーン・マネジメントに多大な影響を与えた本「ザ・ゴール」のエッセンスをコンパクトにマンガ化。ストーリーを楽しみながら、全体最適のマネジメント理論である TOC の基本を理解できる。

日本経済新聞 2023/04/01

2014:12./ 222p
978-4-478-03939-7
¥1,320〔税込〕

ザ・ゴール～企業の究極の目的とは何か～

エリヤフ・ゴールドラット、三本木　亮 著
ダイヤモンド社
企業のゴール（目標）とは何か。主人公である工場長の夫婦間の葛藤も織り交ぜ、アメリカ製造業の競争力を復活させたＴＯＣ（制約条件の理論）を解説した小説。全米で２５０万部を超えるベストセラーをついに邦訳。

日本経済新聞 2023/04/01

2001:5./ 552p
978-4-478-42040-9
¥1,760〔税込〕

できない相談(ちくま文庫　も 29-1)

森　絵都 著
筑摩書房
夫の部屋は掃除しない、余計な金は支払わない、料理は食べきる、サービストークには付き合わない…。ひとがなんと言おうと、わたしはそれを我慢しない。日常の小さな抵抗を描いた小説集。書き下ろし 2 篇を追加。

日本経済新聞 2023/04/01

2023:3./ 212p
978-4-480-43867-6
¥748〔税込〕

経営の力学～決断のための実感経営論～

伊丹　敬之 著
東洋経済新報社
カネの論理、情報の論理、感情の論理が絡み合って生まれる「経営の力学」。その力学の視点から、現場の複雑な現実を読み解く。決断を行うための経営論。

日本経済新聞 2023/04/01

2008:10./ 253p
978-4-492-50187-0
¥1,760〔税込〕

社員をサーフィンに行かせよう～パタゴニア創業者の経営論～

イヴォン・シュイナード 著
東洋経済新報社
アウトドア衣料メーカー「パタゴニア」の創業者/オーナーが、100 年後も存在するために、従来の常識に挑み、信頼できる新しいビジネスの形を世界に訴えかける自社の歴史と理念を語る。

日本経済新聞 2023/04/01

2007:3./ 333p
978-4-492-52165-6
¥1,980〔税込〕

V 字回復の経営～実話をもとにした企業変革ドラマ～　増補改訂版(日経ビジネス人文庫　さ 5-5)

三枝 匡 著
日本経済新聞出版社
不振事業再建に取り組む黒岩莞太は、社内の甘えを断ち切り、業績を回復させることができるか。実際に行われた組織変革を題材に迫真のストーリーで企業再生のカギを説く。実在リーダー同士による熱き対談を増補。

日本経済新聞 2023/04/01

2021:4./ 504p
978-4-532-24003-5
¥990〔税込〕

夜と霧　新版

ヴィクトール・E.フランクル 著
みすず書房
心理学者、強制収容所を体験する－。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である 1977 年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲惨をあますところなく描く。

日本経済新聞 2023/04/01

2002:11./ 169p
978-4-622-03970-9
¥1,650〔税込〕

アウシュヴィッツ潜入記～収容者番号 4859～

ヴィトルト・ピレツキ 著
みすず書房
アウシュヴィッツへの潜入の目的は 2 つ。収容所の実態を外に伝え、収容者仲間を組織して武装蜂起に備えること。自ら進んで拘束され、収容所に入ったポーランド将校ピレツキが、上司宛に綴った詳細な報告。

日本経済新聞 2023/04/01

2020:8./ 54p,386p,40p
978-4-622-08830-1
¥4,950〔税込〕

グリーン経済学～つながってるけど、混み合いすぎで、対立ばかりの世界を解決する環境思考～

ウィリアム・ノードハウス 著
みすず書房
環境汚染の抑制、渋滞緩和、地球温暖化、グリーン化学、環境税、グリーン倫理、グリーンファイナンス…。ノーベル経済学賞受賞者が、社会・経済・政治分野の幅広い問題をグリーンの観点から考察する。

日本経済新聞 2023/04/01

2023:1./ 377p,21p
978-4-622-09571-2
¥4,180〔税込〕

跳ね返りとトラウマ～そばにいるあなたも無傷ではない～

カミーユ エマニュエル 著
柏書房
シャルリ・エブド襲撃事件の生き残りとなった風刺画家。その妻であるジャーナリストが、夫のとなりを歩んだ 5 年間の記録。関係者や専門家へのインタビューをおこない、自分に起きたことにどんな意味があるのかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/04/01

2022:12./ 358p
978-4-7601-5494-4
¥2,970〔税込〕

「原因」と「結果」の法則

ジェームズ・アレン、坂本　貢一 著
サンマーク出版
ナポレオン・ヒル、デール・カーネギー、オグ・マンディーノなど、現代成功哲学の祖たちがもっとも影響を受けた伝説のバイブル。聖書に次いで一世紀以上もの間多くの人々に読まれつづけている驚異的なベストセラー、初の完訳。

日本経済新聞 2023/04/01

2003:4./ 95p
978-4-7631-9509-8
¥1,320〔税込〕

「死にたい」とつぶやく～座間 9 人殺害事件と親密圏の社会学～

中森 弘樹 著
慶應義塾大学出版会
「死にたい」とつぶやいた者たちは、本当に死を望んでいたのか。なぜ、家族ではなく外部に救いを求めたのか。SNS に溢れかえる「死にたい」の声に、どう向き合うべきか。座間 9 人殺害事件の本質について考える必要性を説く。

日本経済新聞 2023/04/01

2022:12./ 321p
978-4-7664-2818-6
¥1,980〔税込〕

さよならドビュッシー(宝島社文庫 C な-6-1)

中山 七里 著
宝島社
日本経済新聞 2023/04/01

2011:1./ 415p
978-4-7966-7992-3
¥618〔税込〕

桃源の水脈～東アジア詩画の比較文化史～

芳賀 徹 著
名古屋大学出版会
東アジアの人びとの根源的な夢想と願望に根ざして作り上げられた、平和の小世界。古代中国に発し、詩的トポスとして幾多の詩文や絵画を生み出してきた「桃源郷」の系譜をまとめた比較詩画史。

日本経済新聞 2023/04/01

2019:5./ 4p,358p,11p
978-4-8158-0946-1
¥3,960〔税込〕

「ひきこもり」と「ごみ屋敷」～国境と世代をこえて～

古橋 忠晃 著
名古屋大学出版会
ひきこもりは病気なのか。ごみ屋敷はひきこもりの高齢者版か。国内外での臨床経験と精神医学の知見を踏まえつつ、当事者と向きあいながら、「ひきこもり」「ごみ屋敷」問題を根本から考察する。

日本経済新聞 2023/04/01

2023:2./ 4p,264p,14p
978-4-8158-1113-6
¥3,520〔税込〕

プロフェッショナルマネジャー・ノート～超訳・速習・図解～<2>

プレジデント書籍編集部 編
玉塚 元一 著
プレジデント社
経営の基礎を、ユニクロの柳井正 CEO に学んだ、ローソンの玉塚元一社長。その経営の教科書となったのが「プロフェッショナルマネジャー」である。玉塚社長が自らの経験を元に、そこに記された経営術のエッセンスを解説する。

日本経済新聞 2023/04/01

2015:6./ 191p
978-4-8334-2135-5
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本電産永守重信社長からのファクス 42 枚

川勝　宣昭 著
プレジデント社
会社の再建を任された著者のもとに、永守重信社長から毎日のように届くファクス。そこには問題を解決するリーダーのための具体的行動が記されていた-。スピードと徹底を究めたカリスマ経営者の言葉を紹介する。

日本経済新聞 2023/04/01

2016:12./ 212p
978-4-8334-2206-2
¥1,760〔税込〕

世界のひきこもり～地下茎コスモポリタニズムの出現～

ぼそっと池井多 著
寿郎社
ひきこもりは社会に置いていかれたのか、社会を見限ったのか。ひきこもり歴 35 年、「世界ひきこもり機構」を創設した 50 代の著者が、インターネットで行なった海外のひきこもりやその支援者との対話をまとめる。

日本経済新聞 2023/04/01

2020:10./ 287p
978-4-909281-29-6
¥1,980〔税込〕

「未来」とは何か～1 秒先から宇宙の終わりまでを見通すビッグ・クエスチョン～

デイビッド・クリスチャン 著
ニューズピックス
微生物や動植物、人間は、未来や時代をどう受け止め、どうやって過去から未来を予想するのか。新学問「ビッグヒストリー」を提唱する歴史学者が、宇宙物理学、生物学、脳科学等の最新知見を総動員。「未来」の謎を解き明かす。

日本経済新聞 2023/04/01

2022:12./ 405p
978-4-910063-25-6
¥2,860〔税込〕

彼女たちの山～平成の時代、女性はどう山を登ったか～

柏　澄子 著
山と渓谷社
山野井妙子、田部井淳子、谷口けいといった稀代のクライマーから、山ガール、山小屋の女性たち、スポーツクライミングまで、平成の時代に山を駆けた女性たちの軌跡をたどる。『山と渓谷』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2023/04/01、朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 255p
978-4-635-17205-9
¥1,870〔税込〕

千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないままルーマニア語の小説家になった話

済東　鉄腸 著
左右社
受験コンプレックス、鬱、クローン病。八方塞がりの苦しみから、ルーマニア語が救ってくれた-。千葉の実家にひきこもり、独学でルーマニア語を学び、現地の文芸誌に短編小説を掲載している著者のノンフィクションエッセイ。

日本経済新聞 2023/04/01、読売新聞 2023/04/09

2023:2./ 253p
978-4-86528-350-1
¥1,980〔税込〕

アウシュヴィッツを破壊せよ～自ら収容所に潜入した男～<上>

2023:1./ 291p
978-4-309-22877-8
¥3,190〔税込〕

ジャック・フェアウェザー 著
河出書房新社
ポーランド工作員、ヴィトルト・ピレツキ。収容所に潜入し、収容所内でレジスタンス組織を立ち上げ、ナチスの犯罪を暴き、破壊する。それが彼の任務-。ナチス最大の悪の震源地でスパイ活動をした男の足跡を追う。

日本経済新聞 2023/04/01、読売新聞 2023/04/16

アウシュヴィッツを破壊せよ～自ら収容所に潜入した男～<下>

2023:1./ 279p
978-4-309-22878-5
¥3,190〔税込〕

ジャック・フェアウェザー 著
河出書房新社
死の工場へと拡大する収容所を世界へ知らしめるべく、ヴィトルトは脱出を決意する。ワルシャワに戻った彼を待ち受ける悲劇、そして慟哭の結末が…。ナチス最大の悪の震源地でスパイ活動をした男の足跡を追う。

日本経済新聞 2023/04/01、読売新聞 2023/04/16

ケチる貴方

2023:1./ 125p
978-4-06-530358-0
¥1,650〔税込〕

石田 夏穂 著
講談社
冷え性と脂肪吸引。文学界が最も注目する作家による身体性に根差した問題作。第44回野間文芸新人賞候補となった表題作と第38回大阪女性文芸賞受賞作を収録する。『群像』『鐘』掲載を大幅に加筆・改稿。

日本経済新聞 2023/04/01、読売新聞 2023/04/30

山本五十六～アメリカの敵となった男～(中公選書　135)

2023:3./ 7p,205p
978-4-12-110136-5
¥1,870〔税込〕

相澤淳 著
中央公論新社
真珠湾攻撃は「ペリーの御礼参り」だったのか-。戦前戦後の価値観の変遷を踏まえた上で、航空戦力への先見的な着目、自身の転機となったロンドン海軍軍縮会議、対米認識を軸に、山本五十六の実像を明らかにする。

日本経済新聞 2023/04/01、毎日新聞 2023/04/08

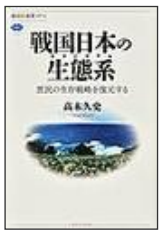
新宗教 戦後政争史(朝日新書　899)

2023:2./ 249p
978-4-02-295206-6
¥979〔税込〕

島田裕巳 著
朝日新聞出版
新宗教は高度経済成長の産物であり、近代日本社会の宗教体制が色濃く反映されている。特に天皇制とのかかわりに着目した時、初めて「新宗教とは何か」が理解できる。宗教学者・島田裕巳が、宗教と政治の関係と確執を解明する。

日本経済新聞 2023/04/08

MARUZEN-YUSHODO



戦国日本の生態系～庶民の生存戦略を復元する～(講談社選書メチエ　777)

高木 久史 著

講談社

寒冷化を迎えた戦国時代、庶民はいかにサバイバルし、時代を動かしたのか。海・山・里の動植物が織りなす生態系と、そこから恵みを得て生活を営む人々の社会システムをひとつの系としてとらえ、戦国の動因を描き出す。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:1./ 293p
978-4-06-530681-9
¥2,200〔税込〕

水の匂いがするようだ～井伏鱒二のほうへ～

野崎　歓 著

集英社

太宰治が「勉強しだいでは、谷崎潤一郎にはなれるけれども、井伏鱒二にはなれない」と評した作家の魅力とは。「井伏文学の面白さここにあり」というポイントを、心愉しくめぐる一冊。『すばる』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/04/08

2018:8./ 283p
978-4-08-771149-3
¥2,420〔税込〕

森林で日本は蘇る～林業の瓦解を食い止めよ～(新潮新書　909)

白井 裕子 著

新潮社

多様性、豊かさともに世界がうらやむような資源である日本の森林。だが、国はその活かし方を理解できていない。補助金、新税、現実離れした制度…。宝の持ち腐れにしないためには? ウッドショックに揺れる現場から鋭く問う。

日本経済新聞 2023/04/08

2021:6./ 189p
978-4-10-610909-6
¥792〔税込〕

森林に何が起きているのか～気候変動が招く崩壊の連鎖～(中公新書　2732)

吉川賢 著

中央公論新社

近年、温暖化の影響による森林の異変が世界中で観測されている。森林生態系のメカニズムから、日本の里山の持続可能な保全策まで、森林科学の知見を第一人者が解説し、実効的な気候変動対策を論じる。

日本経済新聞 2023/04/08

2022:12./ 3p,229p
978-4-12-102732-0
¥924〔税込〕

日本の保守とリベラル～思考の座標軸を立て直す～(中公選書　131)

宇野重規 著

中央公論新社

近年、日本政治において「保守」と「リベラル」という対立図式が語られることが多くなった。欧米の政治思想史を参照しつつ、近現代の日本に保守とリベラル、それぞれの系譜を辿って読み解く。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:1./ 254p
978-4-12-110132-7
¥1,760〔税込〕

文豪、社長になる

門井 慶喜 著

文藝春秋

1923 年、大ベストセラー作家・菊池寛によって、文春は産声をあげたが…。激動の時代に翻弄されながらも、文豪、社長として、波乱に満ちた生涯を送った男の、史実に基づいた物語。『オール讀物』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:3./ 349p
978-4-16-391667-5
¥1,980〔税込〕

森林列島再生論～森と建築をつなぐイノベーション「森林連結経営」～

塩地 博文／文月 恵理／高口 洋人／松本 晃／酒井 秀夫／寺岡 行雄 著

日経ＢＰ社

ウッドショック、ウクライナ危機…日本の森林資源をどう生かす? 「森林列島」を再生するために、林業や林産業ではなく森林産業を構想し、国土を有効活用する事業案を提示する。

日本経済新聞 2023/04/08

2022:9./ 219p
978-4-296-11290-6
¥2,200〔税込〕

電力崩壊～戦略なき国家のエネルギー敗戦～

竹内純子 著

日経ＢＰ社

原子力政策の不透明性や電力自由化、急速な脱炭素化政策など、国の根幹をなすべきエネルギー問題は「失策」の歴史にまみれている。電力政策の歴史、原発や再エネが抱える様々な課題を解説し、具体的な解決策を提示する。

日本経済新聞 2023/04/08

2022:12./ 301p
978-4-296-11502-0
¥1,980〔税込〕

絵本のなかの動物はなぜ一列に歩いているのか～空間の絵本学～

矢野　智司／佐々木　美砂 著

勁草書房

どうして絵本には、動物たちが一列に行進している姿が描かれるのか。絵本作家が作りだした他に類のない絵本世界を象徴する構図を読み解き、絵本世界がもたらす「絵本の力」の謎について考察する。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:2./ 9p,304p,21p
978-4-326-85200-0
¥3,080〔税込〕

森の経済学～森が森らしく、人が人らしくある経済～

三俣 学／齋藤 暖生 著

日本評論社

森林破壊を食い止め、自然と人の営みを調和させるにはどうしたらよいか。エコロジー経済学の視点から考え、平易に解説する。大学等における環境や森林についての入門書としても活用できる。

日本経済新聞 2023/04/08

2022:7./ 10p,260p
978-4-535-55993-6
¥2,750〔税込〕

ポピュリズムに揺れる欧州政党政治(文庫クセジュ　1056)

パスカル・ペリノー 著

白水社

大統領選挙、国民議会選挙等の分析において中心的役割を果たしてきたペリノーが、19 世紀後半のロシアやアメリカを起源とし、この数十年で多元的な様相を帯びるポピュリズム現象を、豊富な事例とともに総括する。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:1./ 155p
978-4-560-51056-8
¥1,320〔税込〕

夕霧花園

タン・トゥアンエン 著

彩流社

1950 年代、英国統治時代のマラヤ連邦(現マレーシア)。日本庭園「夕霧」を介して、天皇の庭師だったアリトモと日本軍の強制収容所のトラウマを抱えるユンリンの人生が交錯する-。同名映画の原作。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:2./ 493p
978-4-7791-2764-9
¥3,850〔税込〕

奇跡のフォント～教科書が読めない子どもを知って-UD デジタル教科書体開発物語～

高田 裕美 著

時事通信出版局

読み書き障害でも読みやすいフォントはどう生まれたのか? 「UD デジタル教科書体」を開発した書体デザイナーが、その試行錯誤と工夫を明かす。多様性の時代における教育・ビジネスのヒントになる一冊。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:4./ 237p
978-4-7887-1871-5
¥1,980〔税込〕

川と人類の文明史

ローレンス・C・スミス 著

草思社

どんな道路、テクノロジー、政治指導者よりも、文明を形づくってきた川の力。河川の「見えない力」を浮き彫りにし、川によって育まれた人類の歩みを多彩なエピソードと共に描く。

日本経済新聞 2023/04/08

2023:2./ 447p
978-4-7942-2638-9
¥3,520〔税込〕

平和憲法をつくった男 鈴木義男(筑摩選書　0245)

仁昌寺正一 著

筑摩書房

日本国憲法第 9 条に平和の文言を加え、25 条の生存権を追加した法律家・政治家である鈴木義男。大正デモクラシーを戦後民主主義につないだ彼の活躍と波乱の生涯を描く。

日本経済新聞 2023/04/08、東京・中日新聞 2023/04/16

2023:1./ 350p
978-4-480-01765-9
¥1,980〔税込〕

メガトン級「大失敗」の世界史(河出文庫　フ 21-1)

トム・フィリップス 著
河出書房新社
人類がどれほどヘマを繰り返し、救いようのない災いをまき散らしてきたか-。世界27か国で刊行された、人間のあんぽんたんぶりを思い知るユーモラスな痛恨列伝。とてつもない大失敗をやらかした時に読む本として最適。

日本経済新聞 2023/04/08、読売新聞 2023/04/23

2023:3./ 334p
978-4-309-46778-8
¥1,078〔税込〕

就活メディアは何を伝えてきたのか

山口 浩 著
青弓社
就職活動でお互いを知る情報ツールである就活メディアの役割とは? 明治期から現在までの就活指南書や、就職をめぐる議論をたどり、時代ごとの企業と学生のせめぎ合いを明らかにして、日本社会の変容にも迫る。

日本経済新聞 2023/04/08、読売新聞 2023/04/23、朝日新聞 2023/04/29

2023:2./ 324p
978-4-7872-3516-9
¥1,980〔税込〕

6歳と3歳のおまけシール騒動～贈与と交換の子ども経済学～

麻生 武 著
新曜社
昭和の末期、大流行したチョコ菓子のおまけシール。このブームに巻き込まれた就学前の2人の息子と仲間たちの克明な日誌的観察記録をもとに、子ども文化、子ども経済、仲間関係の発達を社会歴史的な文脈の中で丁寧に描き出す。

日本経済新聞 2023/04/08、毎日新聞 2023/04/22

2023:3./ 16p,284p
978-4-7885-1800-1
¥3,960〔税込〕

石橋湛山評論集(ワイド版岩波文庫　5)

松尾 尊兊 著
岩波書店
明治44年から敗戦直後まで、『東洋経済新報』に健筆をふるった石橋湛山。普選問題、ロシア革命、3.1運動、満州事変などについての論評どれをとっても、日本にはほとんど比類のない自由主義の論調に貫かれている。

日本経済新聞 2023/04/15

1991:1./ 313p
978-4-00-007005-8
¥1,320〔税込〕

さらば、男性政治(岩波新書 新赤版 1955)

三浦 まり 著
岩波書店
女性の衆議院議員9.7%。日本の政治をアップデートするには。「男性政治」の観点から、日本政治の構造に切り込み、なぜ性別均等な議会が実現しにくいのか、どのように変革の道筋をつけるのかを論じる。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:1./ 4p,279p,13p
978-4-00-431955-9
¥1,078〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

教育が変われば、社会が変わる～三菱グループの教育財団が本気で教育に取り組んで見えてきたこと～

崎谷　実穂／一般財団法人三菱みらい育成財団 著
KADOKAWA
若者が自ら主体的に考え、動くための力を身につけられるような教育プログラムを採択し、助成を行っている三菱みらい育成財団。その取り組みや調査から見えてきた、日本の教育の現状と課題、新しい教育の在り方を紹介する。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:3./ 275p
978-4-04-606090-7
¥1,540〔税込〕

全部ゆるせたらいいのに(新潮文庫　い-136-2)

一木 けい 著
新潮社
あきらめて生きる癖がついた。明日何が起きるか予測がつかない、それがわたしの日常だった。どうしたら信じ合って生きていくことが出来るのだろう-。痛みを直視して人間を描いた、切実な家族の愛の長編物語。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:4./ 248p
978-4-10-102122-5
¥649〔税込〕

金融の世界史～バブルと戦争と株式市場～(新潮選書)

板谷　敏彦 著
新潮社
金融とは、人間の欲が生んだ悪弊か? メソポタミアの粘土板に残る貸借記録からリーマン・ショックまで、人の営みとしての「金融」を通史として俯瞰する。『ビジネスアイ』連載「投資家のための金融史」をもとに単行本化。

日本経済新聞 2023/04/15

2013:5./ 287p
978-4-10-603728-3
¥1,430〔税込〕

欧州戦争としてのウクライナ侵攻(新潮選書)

鶴岡 路人 著
新潮社
ロシアによるウクライナ侵攻は、NATO の関与が深まるとともに欧州全域への影響が大きくなり、「欧州戦争」と呼ぶべきものへと変容した。この大転換の構造を分析し、「ウクライナ後の世界」の課題と日本の選択を探る。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:2./ 287p
978-4-10-603895-2
¥1,815〔税込〕

ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか?～<上>(ハヤカワ文庫 NF 410)

ダニエル・カーネマン、村井　章子 著
早川書房
心理学者にしてノーベル経済学賞を受賞した著者が、直感的・感情的な「速い思考」と、意識的・論理的な「遅い思考」の比喩を巧みに使い、意思決定の仕組みを解き明かす。上はヒューリスティクスとバイアスなどを取り上げる。

日本経済新聞 2023/04/15

2014:6./ 446p
978-4-15-050410-6
¥1,056〔税込〕

ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか?～<下>(ハヤカワ文庫 NF 411)

ダニエル・カーネマン 著
早川書房
心理学者にしてノーベル経済学賞を受賞した著者が、直感的・感情的な「速い思考」と、意識的・論理的な「遅い思考」の比喩を巧みに使い、意思決定の仕組みを解き明かす。下は自信過剰、選択などを取り上げる。

日本経済新聞 2023/04/15

2014:6./ 427p
978-4-15-050411-3
¥1,056〔税込〕

東大 8 年生～自分時間の歩き方～

タカサカモト 著
徳間書店
人生に迷った東大生が「自分の時間を生きる」ことを決意。メキシコでタコス屋になり、ブラジルでサッカークラブの広報、選手の通訳など、“世の中を放浪”しながら幸せの形を見つけていく自伝的痛快エッセイ。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:2./ 271p
978-4-19-865605-8
¥1,760〔税込〕

出世 7 つの法則

ジェフリー・フェファー 著
日経ＢＰ社
「自分の殻を抜け出せ」「ルールを破れ」「権力を演出せよ」「強力なパーソナルブランドを確立せよ」…。長年にわたり権力掌握・保持を研究してきたスタンフォード大学教授が、出世の 7 法則を科学的に解説する。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:1./ 289p
978-4-296-11533-4
¥2,200〔税込〕

バブルの物語～人々はなぜ「熱狂」を繰り返すのか～　新版

ジョン・K.ガルブレイス 著
ダイヤモンド社
すべての投資家は、自分だけは賢明だと信じている。暴落が訪れるその瞬間まで－。発生と崩壊を繰り返す「陶酔的熱病=金融バブル」の本質を明らかにする、警告の書。

日本経済新聞 2023/04/15

2008:12./ 173p
978-4-478-00792-1
¥1,650〔税込〕

脱炭素産業革命(ちくま新書　1715)

郭　四志 著
筑摩書房
脱炭素の現状をとらえ、新たな生産様式・生活様式が、エネルギー安全保障や資本主義・市場経済及びグローバル経済のグリーン化にまで至っている状況を考察。さらに資源国のパワー低下、国際政治経済秩序の変容などを分析する。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:3./ 396p
978-4-480-07543-7
¥1,265〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ナラティブ経済学～経済予測の全く新しい考え方～

ロバート・Ｊ・シラー 著
東洋経済新報社
謎めいたビットコイン物語は人々をどう踊らせた? 新技術への恐怖からラッダイト運動は繰り返される? 人々が紡ぎ出す「ナラティブ」(物語)が経済を動かす様子をビビットに描き出す。

日本経済新聞 2023/04/15

2021:7./ 15p,410p,68p
978-4-492-31533-0
¥3,080〔税込〕

熱狂、恐慌、崩壊～金融危機の歴史～

C.P.キンドルバーガー、R.Z.アリバー、高遠　裕子 著
日本経済新聞出版社
チューリップ熱、南海泡沫事件、世界大恐慌、リーマン・ショック…。なぜバブルは繰り返し発生し、人類はそれをコントロールできないのか? 豊富な事例を引きながら古今東西の金融危機の歴史を網羅した世界的名著。

日本経済新聞 2023/04/15

2014:9./ 4p,545p
978-4-532-35607-1
¥3,960〔税込〕

生産性～誤解と真実～

森川　正之 著
日本経済新聞出版社
生産性を高めるために何が必要なのか。気鋭のエコノミストが、広範な視点から、エビデンスに基づいて生産性と経済政策をめぐる論点を整理。真に有効な処方箋についての考え方を提示する。

日本経済新聞 2023/04/15

2018:11./ 313p
978-4-532-35803-7
¥3,300〔税込〕

バブルの経済理論～低金利、長期停滞、金融劣化～

櫻川 昌哉 著
日本経済新聞出版社
利子率が成長率を下回るとき、バブルは必然化する-。理論経済学者が世界のバブルを分析し、「バブル経済」の本質を歴史と理論から解明。バブルを介して、低金利に直面する現代のマクロ経済を捉え直す。

日本経済新聞 2023/04/15

2021:5./ 497p
978-4-532-35886-0
¥4,950〔税込〕

JFK～「アメリカの世紀」の新星 1917-1956～<上>

フレドリック・ロゲヴァル 著
白水社
ピュリツァー賞受賞の歴史家ロゲヴァルが、ジョン・F・ケネディの知られざる前半生を描いた評伝。出自から大統領選出馬の決意を固めるまでの 39 年間の道のりを辿り、JFK の実像に迫る。上は、第二次世界大戦を中心に収録。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:2./ 375p,32p
978-4-560-09479-2
¥6,600〔税込〕

JFK～「アメリカの世紀」の新星 1917-1956～<下>

フレドリック・ロゲヴァル 著

白水社

ピュリツァー賞受賞の歴史家ロゲヴァルが、ジョン・F・ケネディの知られざる前半生を描いた評伝。出自から大統領選出馬の決意を固めるまでの 39 年間の道のりを辿り、JFK の実像に迫る。下は、政界進出などを収録。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:2./ 367p,58p
978-4-560-09487-7
¥6,930〔税込〕

冥途

内田　百閒 著

平凡社

高い、大きな、暗い土手の下に、一ぜんめし屋があった。私はそこで、周囲の客たちの言葉を耳にして…。表題作をはじめとする 6 つの短篇を、作品の世界をさらに盛り上げる、金井田英津子による版画付きで収録する。

日本経済新聞 2023/04/15

2021:5./ 91p
978-4-582-83869-5
¥2,860〔税込〕

夢十夜

夏目　漱石 著

平凡社

「こんな夢を見た」で始まる、夏目漱石の幻想的文学「夢十夜」を、作品の世界をさらに盛り上げる、金井田英津子の詩情あふれる美しい版画付きで収録する。

日本経済新聞 2023/04/15

2021:5./ 85p
978-4-582-83870-1
¥2,860〔税込〕

猫町

萩原　朔太郎 著

平凡社

猫、猫、猫、猫、猫、猫、猫。どこを見ても猫ばかりだ。これは人間の住む世界でなくて、猫ばかり住んでる町ではないのか…。詩人・萩原朔太郎の物語に、金井田英津子の詩情あふれる美しい版画を添える。

日本経済新聞 2023/04/15

2021:5./ 86p
978-4-582-83871-8
¥2,860〔税込〕

貧困と闘う知～教育、医療、金融、ガバナンス～

エステル・デュフロ 著

みすず書房

開発経済学の最前線を紹介。インド、マラウィ、ケニア…。ワクチン接種キャンペーンを効果的にするには?低コストで子どもたちの教育を改善するには?ランダム化比較実験を駆使した実証により、貧困削減の政策を提示する。

日本経済新聞 2023/04/15

2017:2./ 197p,11p
978-4-622-07983-5
¥2,970〔税込〕

AI が職場にやってきた～機械まかせにならないための 9 つのルール～

ケビン・ルース 著

草思社

人工知能が上司になったら、どうする? 労働の機械化が実現しつつあるいま、あるべき人間と AI の関係を、企業の事例から得た考察を通して提案。機械時代に人間らしさを失わずに働き続けるために必要なことを論じる。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:2./ 315p
978-4-7942-2629-7
¥2,200〔税込〕

ムラブリ～文字も暦も持たない狩猟採集民から言語学者が教わったこと～

伊藤 雄馬 著

集英社インターナショナル

言葉とは、自由とはなにか? インドシナ最後の狩猟採集民・ムラブリ。タイとラオスの山奥に住む彼らの言語は消滅の危機にある。ムラブリ語に青春をささげた言語学者が、人間と言葉の新たな可能性を拓くノンフィクション。

日本経済新聞 2023/04/15

2023:2./ 255p
978-4-7976-7425-5
¥1,980〔税込〕

影の王

マアザ・メンギステ 著

早川書房

1935 年。ムッソリーニ率いるイタリア軍のエチオピア侵攻の足音が近づく中、皇帝は亡命してしまう。兵士たちを鼓舞するため、皇帝そっくりな男が皇帝のふりをする。彼の護衛についた孤児の少女ヒルトは…。

日本経済新聞 2023/04/15、朝日新聞 2023/04/22

2023:2./ 572p
978-4-15-210210-2
¥4,070〔税込〕

正倉院のしごと～宝物を守り伝える舞台裏～(中公新書　2744)

西川明彦 著

中央公論新社

紙、布、木材、金属…。放っておいたらボロボロになる宝物をいかにして守ってきたのか。1300 年近くにわたり宝物を守り伝えてきた正倉院の営みを、保存・修理・調査・模造・公開に分けて紹介する。

日本経済新聞 2023/04/15、朝日新聞 2023/04/29

2023:3./ 5p,204p 図版 16p
978-4-12-102744-3
¥990〔税込〕

第三の大国インドの思考～激突する「一帯一路」と「インド太平洋」～(文春新書　1401)

笠井 亮平 著

文藝春秋

大国として存在感を増すインドは何を考え、どこへ向かうのか。インドと中国との関わり、「一帯一路」と「自由で開かれたインド太平洋」への対応などを説明し、「第三の大国」の座をうかがうインドの思考と戦略を解き明かす。

日本経済新聞 2023/04/15、読売新聞 2023/04/30

2023:3./ 267p
978-4-16-661401-1
¥1,100〔税込〕

招かれた天敵～生物多様性が生んだ夢と罠～

千葉聡 著
みすず書房
進化生物学者で、毎日出版文化賞を受賞した「歌うカタツムリ」の著者が、強力な「天敵」としての外来生物の研究史を通して、計り知れない複雑さをはらむ「自然」と、そこに介入せずには済まない人間と科学の業を描く。

日本経済新聞 2023/04/15、毎日新聞 2023/04/15

2023:3./ 417p,36p
978-4-622-09596-5
¥3,520〔税込〕

忍者とは何か～忍法・手裏剣・黒装束～(角川選書　661)

吉丸　雄哉 著
KADOKAWA
忍者はいつから黒装束・黒覆面で、手裏剣を投げるようになったのか? 忍者文学研究の第一人者が、小説や演劇、マンガなどメディアに描かれた「虚像」の変遷を通史的に解き明かす。

日本経済新聞 2023/04/22

2022:4./ 470p
978-4-04-703623-9
¥2,640〔税込〕

封じ込めの地政学～冷戦の戦略構想～(中公選書　136)

鈴木健人 著
中央公論新社
第二次大戦後、それまでの孤立主義から西側諸国による対ソ戦略を打ち出したアメリカ。その創造的な外交戦略はいかにして実現したのか。公開が進む当時の史料を広く用い、アメリカの冷戦戦略の始まりを緻密にたどる。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:3./ 5p,372p
978-4-12-110137-2
¥2,200〔税込〕

木になった亜沙(文春文庫　い 110-1)

今村 夏子 著
文藝春秋
誰かに食べさせたい。願いがかなって杉の木に転生した亜沙は、わりばしになって若者と出会い…。他者との繋がりを希求する魂を描く、歪で不穏で美しい 3 つの愛の物語を収録する。単行本未収録エッセイを増補。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:4./ 190p
978-4-16-792022-7
¥682〔税込〕

エンタの巨匠～世界に先駆けた伝説のプロデューサーたち～

中山 淳雄 著
日経ＢＰ社
狂気のテレビプロデューサー・土屋敏男、漫画のミダス王・鳥嶋和彦…。日本のエンタメが最も輝いていた時代の最先端にいた巨匠たちへのインタビューを通して、伝説的なヒット作を生み出した思考回路を解明する。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:1./ 261p
978-4-296-00126-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ミライの源氏物語

山崎ナオコーラ 著

淡交社

ルッキズム、ロリコン、貧困、不倫、ジェンダー…。現代を生きる私たちは名作古典「源氏物語」をどう読めるか? 作家・山崎ナオコーラによる現代人のための「源氏物語」エッセイ。『なごみ』連載を大幅に加筆修正。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:3./ 183p
978-4-473-04548-5
¥1,760〔税込〕

クルーゾー(エクス・リブリス)

ルッツ・ザイラー 著

白水社

1989 年夏の東ドイツ。恋人で事故を亡くして絶望した大学生エドは、バルト海に浮かぶ小さな島ヒッデンゼーに向かった。島で皿洗いの職に就いたエドは、島を統治するカリスマ的な男クルーゾーと心を通わせるが…。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:2./ 503p
978-4-560-09081-7
¥4,400〔税込〕

物質は何からできているのか～アップルパイのレシピから素粒子を考えてみた～

ハリー クリフ 著

柏書房

物質の最小単位とは何か。なぜわれわれは存在するのか。カール・セーガンいわく「アップルパイをゼロから作りたかったら、まず宇宙を発明しなければなりません」から始まる、素粒子をめぐる物語。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:1./ 470p
978-4-7601-5497-5
¥3,080〔税込〕

カルト宗教

紀藤正樹 著

アスコム

そもそもカルト宗教とはなにか。カルトはなにをやっているのか。彼らとどう付き合うのか-。救済のため、長年にわたって闘ってきた弁護士が、カルト宗教の真実やマインド・コントロールの手口と実態を語り尽くす。

日本経済新聞 2023/04/22

2022:12./ 239p
978-4-7762-1254-6
¥1,320〔税込〕

宗教 2 世

荻上 チキ 著

太田出版

選べなかった信仰、選べなかった家族。社会からの偏見に苦しんできた宗教 2 世たちを、独りにしないために。1131 人の生の声を集め、信仰という名の虐待=「宗教的虐待」の実態に迫る。TBS ラジオの番組をもとに書籍化。

日本経済新聞 2023/04/22

2022:11./ 339p
978-4-7783-1833-8
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ワンルームから宇宙をのぞく

久保 勇貴 著

太田出版

宇宙のなかに、日常がある。日常のなかに、宇宙がある。笑っちゃうくらい壮大な宇宙と手のひらサイズの日常をダイナミックに行き来する、新感覚の宇宙工学エッセイ。東大発オンラインメディア『UmeeT』等掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:3./ 221p
978-4-7783-1856-7
¥1,980〔税込〕

みんなの宗教 2 世問題

横道誠／島薗進／信田さよ子／釈 徹宗／中田考／沼田和也／江川紹子／斎藤環／鈴木エイト 著

晶文社

虐待、金銭的搾取、家庭崩壊…。過酷な境遇を生きのびた「統一教会」「エホバの証人」など宗教 2 世の当事者たち。海外での最新研究状況を紹介し、当事者たちの証言と識者たちの考察により 2 世問題の解決に挑む。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:2./ 366p
978-4-7949-7353-5
¥1,980〔税込〕

14 歳からの自己啓発

尾崎 俊介 著

トランスビュー

「カーネギー自伝」「学問のすすめ」「7 つの習慣」…。自己啓発本を“文学”として読むと、豊饒な世界が見えてくる。あなたを守り、人生に立ち向かうための武器になる、自己啓発本由来の様々な叡智を教える。

日本経済新聞 2023/04/22

2023:3./ 350p
978-4-7987-0187-5
¥2,420〔税込〕

カルトの子〜心を盗まれた家族〜(論創ノンフィクション 009)

米本和広 著

論創社

オウム真理教、エホバの証人、統一教会、ヤマギシ会…。普通の家庭にカルト宗教が入り込んだとき、子どもはどんな影響を受けるのか。神の子などと呼ばれながら、心に傷を負った子どもたちが、自分の言葉で語った壮絶な記録。

日本経済新聞 2023/04/22

2021:3./ 314p
978-4-8460-2014-9
¥2,420〔税込〕

西洋挿絵見聞録〜製本・挿絵・蔵書票〜

気谷 誠 著

アーツアンドクラフツ

ルネサンス期のイタリック体で造られた小型本から、総革装に幾何学模様・金箔押しのグロリエの装丁本、ロココ時代の艶笑本挿絵、ベル・エポック期に海に沈没した宝石本など、西洋の挿絵・製本・蔵書票のエピソードを綴る。

日本経済新聞 2023/04/22

2009:11./ 333p
978-4-901592-55-0
¥4,180〔税込〕

日本列島「現代アート」を旅する(小学館新書 243)

秋元 雄史 著

小学館

日本に数多ある現代アート作品の中から、これだけは絶対見ておきたい傑作 10 点を厳選。作品の楽しみ方、アーティストの人となり、作品が生まれた時代背景などを、詳しくわかりやすく解説します。

日本経済新聞 2023/04/29

2015:6./ 221p
978-4-09-825243-5
¥836〔税込〕

唐～東ユーラシアの大帝国～(中公新書　2742)

森部豊 著

中央公論新社

618 年に李淵が建国した唐は、国際色豊かな文化を生んだのち、遊牧勢力と流賊の反乱に圧され、907 年に滅亡した。歴代皇帝の事績を軸に、対外戦争、経済、社会制度、宮廷内の権謀術数を活写する。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 5p,379p
978-4-12-102742-9
¥1,210〔税込〕

リアリティ+～バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦～<上>

デイヴィッド・Ｊ・チャーマーズ 著

ＮＨＫ出版

私たちがいるこの世界は本物なのだろうか? それが「確か」だとなぜわかるのか? シミュレーション仮説など様々な思考実験を元に新たな「現実」に迫り、根本から思考の転換をうながす哲学的議論。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 413p
978-4-14-081936-4
¥2,640〔税込〕

リアリティ+～バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦～<下>

デイヴィッド・Ｊ・チャーマーズ 著

ＮＨＫ出版

バーチャル世界の中の人生に意味はあるのか? AR で拡張された心も「心」といえるのか? シミュレーション仮説など様々な思考実験を元に新たな「現実」に迫り、根本から思考の転換をうながす哲学的議論。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 333p
978-4-14-081937-1
¥2,530〔税込〕

21 世紀の財政政策～低金利・高債務下の正しい経済戦略～

オリヴィエ・ブランシャール 著

日経ＢＰ社

長期に及ぶ低金利、目標に到達しないインフレと低成長…。金融政策が実効下限制約に直面する中で、日本に本当に必要な経済政策とは何か。マクロ経済学の世界的権威が、経済の安定化に向けて、財政政策の役割を明らかにする。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 275p
978-4-296-11430-6
¥3,080〔税込〕

強欲資本主義は死んだ～個人主義からコミュニティの時代へ～

ポール・コリアー／ジョン・ケイ 著
勁草書房
自信過剰な経営者も、独善的な政治家や社会運動家も、目立ちたがりインフルエンサーも、行き過ぎた個人主義は社会を幸せにしない。コミュニティと市場が共存し、「共創」する新しい資本主義のための処方箋を提示する。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:2./ 20p,264p,29p
978-4-326-55092-0
¥3,850〔税込〕

世界はシンプルなほど正しい～「オッカムの剃刀」はいかに今日の科学をつくったか～

ジョンジョー・マクファデン 著
光文社
複雑な理論よりも単純な理論の方が正しい。「オッカムの剃刀」と呼ばれるこの原則は、科学を宗教の支配から解放し、多くの科学的発見を支えた。中世の神学者“オッカムのウィリアム”の思想と影響を、科学の発展史と共に辿る。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 484p
978-4-334-96263-0
¥2,860〔税込〕

中国のデジタル戦略と法～中国情報法の現在地とデジタル社会のゆくえ～

石本　茂彦／松尾　剛行／森脇　章 編
岡野　寿彦／小野寺　良文／角本　和理／胡　悦／田中　信行／劉　淑珺 著
弘文堂
欧州や日本とも全く異なる「国家安全」を頂点に紐づけられた中国独特の情報法のあり方とは-。中国のデジタル戦略とそれを支える情報法体系の内実を通覧し、デジタル社会の展望と課題を明らかにする。

日本経済新聞 2023/04/29

2022:11./ 12p,302p
978-4-335-35919-4
¥4,180〔税込〕

「豊かさ」の農本主義

大石 和男 著
人文書院
農がもたらす新しい価値とは? 戦前のファシズム思想の温床とされた「農本主義」をみなおし、戦後の農業の思想と実践を追って、新たに位置づける。また、ジェンダー思想、市民運動など多様な農業の姿と思想も明らかにする。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 359p
978-4-409-03121-6
¥5,280〔税込〕

芝居のある風景

矢野　誠一 著
白水社
作品から連想された個人体験による心情を綴った演劇評。演劇作品にまつわる多彩なエピソードを織り交ぜながら、静かで深い感動をもたらす景色を新たに描き出す、東京人による「東京物語」。『都民劇場』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 214p
978-4-560-09493-8
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本の自然をいただきます～山菜・海藻をさがす旅～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-9)

ウィニフレッド・バード 著

亜紀書房

2005 年に来日した著者が、山菜・海藻をさがして北海道から九州まで古代薫る地へ赴き、調べ、食べた、“原日本”の風景と暮らしに迫る異文化食紀行。各章末にレシピ、巻末に野草・海藻ガイド付き。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 314p
978-4-7505-1782-7
¥2,200〔税込〕

はじめての中国法務 Q&A

経営法友会中国法務研究会 著

商事法務

中国法務にはじめて触れる人に向けて、中国法務の考え方や重要法令のポイント、中国ビジネスにおける契約実務について、Q&A 形式でコンパクトにまとめる。コラムや、押さえておきたい中国語も掲載。

日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 7p,231p
978-4-7857-3006-2
¥2,420〔税込〕

中国ビジネス法大全

射手矢 好雄 著

時事通信出版局

中国ビジネス法務の実務書。中国の仕組み、共産党の指導などを説明したうえで、基本法から、投資の方法、コンプライアンス、商取引、撤退と再編、紛争処理まで、重要な実務のポイントを最先端の情報とともに解説する。

日本経済新聞 2023/04/29

2022:10./ 523p
978-4-7887-1849-4
¥3,960〔税込〕

香港陥落

松浦 寿輝 著

講談社

1941 年、日本軍政前夜の香港。暗い過去を秘めた日英中の男 3 人が、ペニンシュラ・ホテルに集い、語り合う。やがて夜は更け、歴史が動き始め…。時代の狂風に翻弄される男達の愛と友情と苦悩を描く。『群像』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/04/01

2023:1./ 252p
978-4-06-530023-7
¥1,980〔税込〕

日本人の愛したお菓子たち～明治から現代へ～(講談社選書メチエ　782)

吉田 菊次郎 著

講談社

明治のリキュールボンボン、昭和のナボナ、平成のティラミス、令和のタピオカミルクティー…。製菓業界の生き字引が、大流行したお菓子の誕生秘話や時代背景を解説する。カラー図版も多数掲載。

毎日新聞 2023/04/01

2023:3./ 441p
978-4-06-531430-2
¥3,300〔税込〕

フランチャイズ!つくだ☆マジカル<1>(ビッグコミックス)

小田 扉 著
小学館
高校生・あつみがバイトを始めた、個人営業のコンビニ。そのおばさん店長は、元・魔法少女だった…!魔王を倒した魔法少女が、なぜコンビニ経営を!?もしかして、他の従業員は…!?

毎日新聞 2023/04/01

2023:1./ 224p
978-4-09-861552-0
¥715〔税込〕

フランチャイズ!つくだ☆マジカル<2>(ビッグコミックス)

小田 扉 著
小学館
魔王は死んでいない－人間界で暮らしていた魔物たちに、激震が走る。彼らは忘れていない。魔王に受けた恩を、魔王軍誕生の瞬間を……一方、キラリンの得意とする瞬間移動魔法に、思わぬ使い途が発覚!?

毎日新聞 2023/04/01

2023:3./ 208p
978-4-09-861582-7
¥715〔税込〕

くたばれ PTA　改版(新潮文庫　つ-4-19)

筒井　康隆 著
新潮社
マスコミ、主婦連から俗悪の烙印を押された SF マンガ家の怒りが爆発する表題作をはじめ、高度成長時代の会社員を描いた「猛烈社員無頼控」など、風刺、SF からホラーまで、黒い笑いが全開のショート・ショート 24 編を収録。

毎日新聞 2023/04/01

2015:12./ 269p
978-4-10-117119-7
¥572〔税込〕

検事の矜持

中尾巧 著
中央公論新社
嘘、弁解、隠匿、権力が交錯する数々の事件。事件には必ず背景がある-。検事は事件の捜査に当たって何を考え、いかに行動し、真実を探るのか。その思考と行動論理を、検事長を務めた著者が綴る。趣味・紀行のエッセイも収録。

毎日新聞 2023/04/01

2023:2./ 221p
978-4-12-005633-8
¥1,650〔税込〕

マザーツリー～森に隠された「知性」をめぐる冒険～

スザンヌ・シマード 著
ダイヤモンド社
森林は「インターネット」であり、菌類がつくる「巨大な脳」だった-。木々をつなぐハブとなり、次世代を育む「マザーツリー」の驚くべき機能とは? 気候変動が注目される今、自然の中の「秘められた知性」に耳を傾ける一冊。

毎日新聞 2023/04/01

2023:1./ 573p 図版 16p
978-4-478-10700-3
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

変容するシェイクスピア～ラム姉弟から黒澤明まで～(筑摩選書　0249)

廣野　由美子／桒山　智成 著
筑摩書房
シェイクスピア作品は、後世の創作家たちによっていかにして新たな息吹を吹き込まれ、世界に知られるようになったのか? 児童文学や映画など、翻案作品を詳細に分析し、多様な魅力に迫る。

毎日新聞 2023/04/01

2023:2./ 230p
978-4-480-01766-6
¥1,760〔税込〕

イタリア暮らし

内田 洋子 著
集英社インターナショナル
ミラノを走り、ヴェネツィアに漂う。リグリアの風に吹かれ、島々を巡る。普通の生活には、たくさんの物語がある-。イタリアにわたり 40 年余りとなる著者が、暮らしながら見てきた日常の情景を綴る。

毎日新聞 2023/04/01

2023:2./ 252p
978-4-7976-7426-2
¥1,980〔税込〕

殉教の日本～近世ヨーロッパにおける宣教のレトリック～

小俣ラポー 日登美 著
名古屋大学出版会
キリスト教文化にとって日本は殉教の聖地だった。長崎二十六殉教者の列福やその聖遺物の行方、多様な殉教伝・磔図像・残酷劇などを跡づけ、グローバルな宣教の中で日本のイメージがどのように成立・普及したのかを解明する。

毎日新聞 2023/04/01

2023:2./ 5p,404p,188p
978-4-8158-1119-8
¥9,680〔税込〕

シリーズ宗教と差別<第 3 巻>　差別の地域史

小倉 慈司／西宮 秀紀／吉田 一彦 編
法蔵館
なぜ、人は差別するのか。宗教学、社会学、政治学、人類学、民俗学、歴史学など多角的立場から固定化された差別観を覆し、宗教に内在する差別の構造に迫る。第 3 巻は、渡辺村から浪速部落へと至る歴史的経緯などを取り上げる。

毎日新聞 2023/04/01

2023:2./ 276p
978-4-8318-5723-1
¥3,080〔税込〕

ぶら～り文学の旅

村上　政彦 著
鳳書院
本を読む行為は旅することに似ている。知らない風景や知らない人に会いに行こう-。北海道から沖縄まで、作家・村上政彦が読んできた日本各地を舞台にした優れた文学作品を紹介する。『聖教新聞』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/04/01

2023:1./ 237p
978-4-87122-207-5
¥1,500〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ぼくはいったいどこにいるんだ

ヨシタケシンスケ 著
ブロンズ新社
自分が今どこにいるのか、とか、何が一番大事なのか、とか、このあとどうしたいのか、とか…。いろんなことを地図にしてみると、わかることがたくさんある! ヨシタケシンスケ流世界と自分のつかまえかた。発想えほん第 5 弾。

毎日新聞 2023/04/01

2023:3./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-89309-716-3
¥1,540〔税込〕

快楽の仏蘭西探偵小説

野崎六助 著
インスクリプト
作品構造と叙述コードの分析を踏まえた、通時性と原理論を併せもつフランス探偵小説論。文学と探偵小説、並行しつつも分岐した歴史の深層を跨いで、その固有性と全体像を提示する。フランス探偵小説・探偵映画ベスト 33 付き。

毎日新聞 2023/04/01

2022:11./ 665p
978-4-900997-99-8
¥4,620〔税込〕

魂魄の道

目取真 俊 著
影書房
住民の 4 人に 1 人が犠牲となった沖縄戦。鉄の暴風、差別、間諜、虐殺、眼裏に焼き付いた記憶…。現実と対峙し続ける作家が、“沖縄戦”をライトモチーフに 5 つの物語を描く。『文學界』など掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/04/01、東京・中日新聞 2023/04/30

2023:2./ 186p
978-4-87714-495-1
¥1,980〔税込〕

花に埋もれる

彩瀬 まる 著
新潮社
憧れ、執着、およそ恋に似た感情が幻想を呼び起こし、世界の色さえ変えていく-。女による女のための R-18 文学賞受賞作「花に眩む」も収録した、ベストアルバム的短編集。

毎日新聞 2023/04/02

2023:3./ 193p
978-4-10-331965-8
¥1,760〔税込〕

茜唄<上>

今村 翔吾 著
角川春樹事務所
歴史とは、勝者が紡ぐもの。では何故「平家物語」は「敗者」の名が冠されているのか。「平家物語」が如何にして生まれ、何を託されたか、平清盛最愛の子・知盛の生涯を通じて、その謎を描く。『京都新聞』他連載に加筆・修正。

毎日新聞 2023/04/02

2023:3./ 339p
978-4-7584-1439-5
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

茜唄<下>

今村 翔吾 著
角川春樹事務所
源氏に追われ、京から落ちた平家一門。しかし彼らは、追い込まれる度に、結束し、強く、美しくなっていく。戦う者の思惑が絡まり、ぶつかり、高まり、向かう結末は-。『京都新聞』他連載に加筆・修正。

毎日新聞 2023/04/02

2023:3./ 366p
978-4-7584-1440-1
¥1,980〔税込〕

刺青・少年・秘密　改版(角川文庫　た 77-6)

谷崎　潤一郎 著
KADOKAWA
谷崎潤一郎の初期代表作を集めた作品集。処女作「刺青」ほか、少年少女たちの倒錯した世界を描く「少年」、過剰な刺激と秘されたものに魅了された男を描く「秘密」など、耽美、サディズム、マゾヒズムが交錯する全 8 編を収録。

毎日新聞 2023/04/08

2021:2./ 446p
978-4-04-110974-8
¥770〔税込〕

西山太吉最後の告白(集英社新書 1145)

西山 太吉／佐高 信 著
集英社
沖縄返還密約が日本の形を変えてしまった。根源は岸、佐藤、安倍の三代にある-。政府の機密資料をスクープした元毎日新聞記者・西山太吉が、その真意と日本政治の裏面史を評論家・佐高信に語る。

毎日新聞 2023/04/08

2022:12./ 246p
978-4-08-721245-7
¥1,045〔税込〕

偽者

ローレン・オイラー 著
早川書房
恋人が SNS で有名な陰謀論者だと知った「わたし」。2 つのかけ離れた言動のどちらが彼の本当の姿なのだろうか。「わたし」が本心を問い質そうとした直前に、彼が事故死したという報せが届く。彼の謎を追いかけるうちに…。

毎日新聞 2023/04/08

2023:2./ 373p
978-4-15-210209-6
¥3,190〔税込〕

カティンの森のヤニナ～独ソ戦の闇に消えた女性飛行士～

小林 文乃 著
河出書房新社
独ソ戦最大の謎とされた虐殺事件には、たったひとり女性の犠牲者がいた。その死はやがて、国家の思惑の渦にのまれてゆく-。ポーランドという国家と一人の女性、そしてその一族の運命が重なり合う歴史紀行ノンフィクション。

毎日新聞 2023/04/08

2023:3./ 236p
978-4-309-03097-5
¥2,552〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

HERE

リチャード・マグワイア 著

国書刊行会

窓と作りつけの暖炉のほかには何もない部屋で、アメリカのある家族の歴史と、紀元前 30 億 50 万年から 22175 年にいたる壮大な地球の歴史が描かれていく。1989 年のオリジナル版などを掲載した冊子付き。

毎日新聞 2023/04/08

2016:10./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-336-06073-0
¥4,400〔税込〕

北欧のパブリックスペース～街のアクティビティを豊かにするデザイン～

小泉 隆／ディビッド・シム 著

学芸出版社

自然環境に配慮し、人間中心の包括的な発想でデザインされる北欧のパブリックスペース。ストリート、広場、庭園、ビーチ、サウナ、屋上など 55 事例を写真・図面で紹介し、アクティビティが生まれる都市空間を読み解く。

毎日新聞 2023/04/08

2023:2./ 175p
978-4-7615-3288-8
¥3,630〔税込〕

小さな思いつき集～エプロンメモ～

暮しの手帖編集部 編

暮しの手帖社

暮らしが少しでも便利に、楽しく、すてきになるヒントやアイデアを集めた『暮しの手帖』の長期連載「エプロンメモ」。今の暮らしにも役に立つ 628 編を、早春、春、初夏、夏、秋、冬に分けて厳選紹介する。

毎日新聞 2023/04/08

2023:2./ 232p
978-4-7660-0228-7
¥1,540〔税込〕

台湾および落語の!

真木 由紹 著

彩流社

台湾と日本を行きつ戻りつ、足とスケボーを興じ分けつ、そんな日本語教師ササキの日常に浮かび上がる落語家志望の元台湾人留学生。学生は何故消えたのか? 師弟の二人会は実現するのか?

毎日新聞 2023/04/08

2023:1./ 289p
978-4-7791-2866-0
¥2,970〔税込〕

旅するモヤモヤ相談室

木谷 百花 編

世界思想社

タンザニアの行商人、ブータンの酒飲み…。世界を知れば、悩みは解ける! 医学生が、世界各地を調査する専門家たちを訪ねて見つけた、目からウロコの生きる知恵とは。読むと心が軽くなる、閉塞感を打ち破る対話集。

毎日新聞 2023/04/08

2023:3./ 7p,194p
978-4-7907-1781-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

沖縄の岸辺へ～五十年の感情史～

菊地史彦 著

作品社

復帰後の半世紀という時間の中で起きた様々な事象は、沖縄と本土の人々のこころに何をもらたしたのか。沖縄と本土の交差しつつすれ違う構造を考える。『論座』掲載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/04/08

2022:12./ 267p
978-4-86182-949-9
¥3,080〔税込〕

マーメイド・オブ・ブラックコンチ

モニーク・ロフェイ、岩瀬　徳子 著

左右社

1976 年。釣り大会で釣り上げられた人魚は、千年の呪いで海をさまよう、滅亡した民族の少女だった。尾が腐り落ち、鱗が剝がれ、脚を得た彼女は生とセックスを謳歌するが、永久の呪いが彼女を放っておくわけもなく…。

毎日新聞 2023/04/08

2023:2./ 317p
978-4-86528-349-5
¥2,970〔税込〕

グレーゾーンの歩き方～発達障がい・グレーゾーンの世界を理解する本～

成沢真介 著

風鳴舎

発達障がいの人が経験している日常の気持ちや困りごとを、「本人目線」にこだわってわかりやすく表現。なぜそうなるのかという理由にも言及し、起こる問題と対処の仕方、世間を渡っていくためのガイドマップも提示する。

毎日新聞 2023/04/08

2022:10./ 14p,224p
978-4-907537-41-8
¥1,815〔税込〕

成瀬は天下を取りにいく

宮島 未奈 著

新潮社

中 2 の夏休みの始まりに幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るという。さらには M-1 に挑み、実験のため坊主頭に…。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2023/04/08、朝日新聞 2023/04/22、日本経済新聞 2023/04/29

2023:3./ 201p
978-4-10-354951-2
¥1,705〔税込〕

大きな字で書くこと/僕の一〇〇〇と一つの夜(岩波現代文庫　文芸 350)

加藤 典洋 著

岩波書店

自分自身のこと、父のこと、友人たちのこと、学生運動のこと…。批評家・加藤典洋が自らを回顧した連載や、発病後も書き続けた最後のことばたちをまとめる。没後に刊行された詩集「僕の一〇〇〇と一つの夜」を併録。

毎日新聞 2023/04/15

2023:3./ 8p,340p
978-4-00-602350-8
¥1,474〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

枕草子～付現代語訳～<上巻>　新版(角川ソフィア文庫)

1998:6./ 445p
978-4-04-402601-1
¥968〔税込〕

清少納言 著
角川書店
約三〇〇段からなる随筆文学。『源氏物語』が王朝の夢幻であるとすれば、『枕草子』はその実相であるといえる。中宮定子をめぐる後宮世界に注がれる目はいつも鋭く冴え、華やかな公卿文化を正確に描き出す。

毎日新聞 2023/04/15

枕草子～付現代語訳～<下巻>　新版(角川ソフィア文庫)

2000:9./ 492p
978-4-04-402602-8
¥1,056〔税込〕

清少納言 著
角川書店
約三〇〇段からなる随筆文学。『源氏物語』が王朝の夢幻であるとすれば、『枕草子』はその実相であるといえる。中宮定子をめぐる後宮世界に注がれる目はいつも鋭く冴え、華やかな公卿文化を正確に描き出す。

毎日新聞 2023/04/15

息が詰まるようなこの場所で

2023:1./ 255p
978-4-04-737340-2
¥1,650〔税込〕

外山　薫 著
KADOKAWA
一人息子の過酷な受験戦争、最上階に住む医者一族、エリートコースを歩む同僚やPTA の雑務…。大手銀行で働くさやかは、念願のタワマンに住みながらも日々ストレスが絶えない。逃げたいと思ったさやかは…。

毎日新聞 2023/04/15

食客論～共生 孤食 口唇 食客 海賊 異人 味会 坐辺 飲食 寄生～

2023:3./ 263p
978-4-06-530545-4
¥1,760〔税込〕

星野 太 著
講談社
フーリエ、魯山人、ポン・ジュノらのテクストに潜む、友でも敵でもない曖昧な他者=「食客」。彼らの足跡をたどり、口当たりのよい「歓待」や「共生」という言葉に隠されている寄生の現実を探究する。『群像』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/04/15

N の廻廊～ある友をめぐるきれぎれの回想～

2023:3./ 261p
978-4-06-530693-2
¥2,090〔税込〕

保阪 正康 著
講談社
汽車通学で出会った 2 人の中学生は、30 年余後にノンフィクション作家と保守的思想家として再会。それからまた 30 年、突然の別れが…。60 年の歳月を往還し、自裁を遂げた友の内実に迫る。『群像』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2023/04/15

MARUZEN-YUSHODO

日本語の発音はどう変わってきたか～「てふてふ」から「ちょうちょう」へ、音声史の旅～(中公新書　2740)

釘貫亨 著
中央公論新社
奈良時代には母音が 8 つあった? 「行」を「コウ」と読んだり「ギョウ」と読んだり、なぜ漢字には複数の音読みがあるのか? 日本語音声の歴史的な変遷を、奈良時代から江戸時代半ばまでの中央語を対象にして解説する。

毎日新聞 2023/04/15

2023:2./ 4p,242p
978-4-12-102740-5
¥924〔税込〕

悪口と幸せ

姫野カオルコ 著
光文社
美貌も知名度も偏差値も功績もすべてをぶっ飛ばすあの部分-。昭和から令和まで、それぞれの時代の風俗を取り込みながら、容姿への疑問と不安を物語に昇華させた連作集。『小説すばる』掲載等に書下ろしを加える。

毎日新聞 2023/04/15

2023:3./ 221p
978-4-334-91518-6
¥1,760〔税込〕

事実はどこにあるのか～民主主義を運営するためのニュースの見方～(幻冬舎新書　さ-26-1)

澤 康臣 著
幻冬舎
権力者に都合の悪い事実は隠され SNS 上にはデマや誤情報が氾濫する。事実はどこにあるのか? ジャーナリズムのあり方を現場の声をふまえてリアルに解説。ニュースの見方が深まり、重要な情報を見極められるようになる一冊。

毎日新聞 2023/04/15

2023:3./ 307p
978-4-344-98689-3
¥1,100〔税込〕

消された水汚染～「永遠の化学物質」PFOS・PFOA の死角～(平凡社新書　994)

諸永　裕司 著
平凡社
発がん性が指摘される有機フッ素化合物によって、東京・多摩地区の一部の地下水と飲み水が汚染されていた。見えざる汚染源を追跡する過程で露わになったこの国の姿とは-。情報公開制度を駆使した、執念の調査報道の記録。

毎日新聞 2023/04/15

2022:1./ 327p
978-4-582-85994-2
¥1,078〔税込〕

僕とアンモナイトの１億年冒険記

相場大佑 著
イースト・プレス
新種のアンモナイト化石の名づけ親になったり、博物館で展示を作ったり…。時に悩みながらも古生物学研究を一歩ずつ進めていく著者が、大学時代から現在までに歩んできた道のりをありのままに記す。

毎日新聞 2023/04/15

2023:1./ 221p
978-4-7816-2155-5
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

高田賢三と私～「パリの息子」とすごした 37 年間～

2023:2./ 277p
978-4-7887-1872-2
¥2,420〔税込〕

鈴木 三月 著
時事通信出版局
パリモード界での革命、木綿の詩人、色の魔術師…。2020 年に新型コロナで亡くなった世界的デザイナー高田賢三を、37 年間、公私ともにビジネスパートナー、プライベートマネージャーとして支えた著者が、その素顔を語る。

毎日新聞 2023/04/15

オスマン帝国の世界秩序と外交

2023:2./ 6p,272p,43p
978-4-8158-1117-4
¥5,940〔税込〕

鈴木 董 著
名古屋大学出版会
オスマン帝国の原初から終焉までの 600 年余を、文明史的視角から一望。ダイナミックな「国際」関係や対外交渉行動を描くとともに、近代の西欧国際体系との関係を、外交使節や公館、革命や大戦への対応などから論じる。

毎日新聞 2023/04/15

花粉ハンドブック

2023:3./ 127p
978-4-8299-8174-0
¥1,980〔税込〕

日下石 碧 著
文一総合出版
身近に咲く植物 89 科 186 種の花粉を紹介する図鑑。一般の観察でも使いやすいよう、光学顕微鏡で撮影した写真と、その見え方をわかりやすく解説するスケッチを掲載する。標本の作り方やコラムも収録。

毎日新聞 2023/04/15

闘いの庭 咲く女～彼女がそこにいる理由～

2023:3./ 269p
978-4-16-391675-0
¥1,650〔税込〕

ジェーン・スー 著
文藝春秋
「私なんて」はもう捨てよう。柴田理恵、君島十和子、一条ゆかりら、逆風をしたたかにかわしつつ花を咲かせた 13 人の女性たちに、「自分らしさ」の見つけかた、生き方、仕事術を訊く。『週刊文春 WOMAN』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/04/15、毎日新聞 2023/04/22

つげ義春流れ雲旅

2023:1./ 318p
978-4-02-251877-4
¥2,860〔税込〕

つげ義春／大崎紀夫／北井一夫 著
朝日新聞出版
東北の湯治場、四国おへんろ、国東半島…。味わい深き土地の記憶が立ち上る-。漫画家・つげ義春、写真家・北井一夫、記者・大崎紀夫の 3 人が、1969～75 年に日本各地を旅した記録を復刊。50 年ぶりの鼎談も収録する。

毎日新聞 2023/04/22

BOOKS のんべえ～お酒で味わう日本文学 32 選～

木村 衣有子 著
文藝春秋
酔わない山本周五郎、太宰治とりんご酒、武田泰淳が助手席であける缶ビール。文学のとなりには、いつもお酒がある…。のんべえ心に刺さるツボな選書で味わう読書エッセイ。『文學界』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/04/22

2023:4./ 200p
978-4-16-391683-5
¥1,650〔税込〕

シューベルト:《冬の旅》～声楽曲～(ON BOOKS advance　もっときわめる!1 曲 1 冊シリーズ 04)

喜多尾 道冬 著
音楽之友社
人気のクラシック音楽、シューベルト「冬の旅」を多方面から極める! 「冬の旅」の魅力と楽曲解説を収録するとともに、演奏史、録音史、名盤の数々などを紹介する。

毎日新聞 2023/04/22

2023:3./ 94p
978-4-276-35704-4
¥1,320〔税込〕

百貨店の戦後史～全国老舗デパートの黄金時代～

夫馬信一 著
国書刊行会
地元に愛され隆盛を誇ったものの今は消えてしまった全国の老舗デパートを徹底取材。関係者の証言や当時の新聞記事を取り上げつつ、そのドラマチックな興亡の歩みを戦後の世相とともにあぶりだす。貴重図版 300 点以上を掲載。

毎日新聞 2023/04/22

2023:2./ 322p 図版 16p
978-4-336-07453-9
¥3,960〔税込〕

鬼と日本人の歴史(ちくまプリマー新書　422)

小山　聡子 著
筑摩書房
絵本などで親しまれながら恐怖の対象でもある「鬼」。古代では畏怖の対象だったが、時が経つにつれ、都合の悪いものをたとえたような存在となった。鬼とは何なのか、史料に基づいて鬼の系譜をたどる。

毎日新聞 2023/04/22

2023:3./ 203p
978-4-480-68447-9
¥902〔税込〕

シャーロック・ホームズの誤謬～『バスカヴィル家の犬』再考～(創元ライブラリ L ハ 4-1)

ピエール・バイヤール 著
東京創元社
ホームズの推理は間違っていた! シリーズ中の代表的長編「バスカヴィル家の犬」を俎上にのせ、ホームズの推理の疑問点、矛盾点を指摘し、事件の真相に迫る。

毎日新聞 2023/04/22

2023:2./ 248p
978-4-488-07086-1
¥1,210〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「推し」の文化論～BTS から世界とつながる～

鳥羽和久 著
晶文社
BTS はなぜグローバルな支持を得ているのか。彼らのメッセージの真意はどこにあるのか。楽曲やメンバーの言葉、ARMY との関係からその魅力の秘密を読み解く BTS 論の決定版。BTS を通して今を生きるための術を探る。

毎日新聞 2023/04/22

2023:3./ 167p
978-4-7949-7331-3
¥1,540〔税込〕

遙かなるマルキーズ諸島～句集と小説～

マブソン　青眼 著
本阿弥書店
無限大から無限大へカヌーかな 250 句を収めたアニミズム句集。ゴーギャンとブレルが愛した神秘の島で繰り広げられる、人間と人魚の壮大なる恋物語を描いた、『俳壇』連載の小説も併録。

毎日新聞 2023/04/24

2023:2./ 209p
978-4-7768-1628-7
¥2,750〔税込〕

わだち～小林成子句集～

小林成子 著
ふらんす堂
散り初めし花びらの立つ芝生かな 坂あれば雲湧きやすしラムネ玉 昼過ぎの榾火の丈や残り福 ぶれのない写生眼で対象を見据えた第 1 句集。平成 7 年から令和 2 年までの作品を収録する。

毎日新聞 2023/04/24

2022:12./ 187p
978-4-7814-1497-3
¥2,860〔税込〕

山崎方代の百首～「自分」を求めて～(歌人入門 6)

藤島秀憲 著
ふらんす堂
寂しいが吾れにひとりの姉があるかなしきを打つこのときのまも めずらしく晴れたる冬の朝なり手広の富士においとま申す 山崎方代の短歌を百首取り上げ、一首ずつ丁寧に読みとく。巻末に解説も収録。

毎日新聞 2023/04/24

2023:2./ 203p
978-4-7814-1536-9
¥1,870〔税込〕

谷さやん句集

谷　さやん 著
朔出版
捻挫して燕の空を遠くする 雪にまだ早くて絵の具ころがして 雲が湧く揚羽もわれも可燃性 2018 年刊「空にねる」から 199 句を再録し、以降の 4 年間の 200 句を収録した第 2 句集。

毎日新聞 2023/04/24

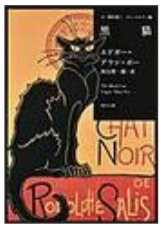
2022:11./ 167p
978-4-908978-80-7
¥2,200〔税込〕

月蝕書簡～寺山修司未発表歌集～

田中　未知 編
寺山　修司 著
岩波書店
面売りの面のなかより買い来たる笑いながらに燃やされにけり　剥製の鷹抱きこもる沈黙は飛ばざるものの羽音きくため　寺山修司の未発表歌集。「「月蝕書簡」をめぐる経緯」、解説なども収録。

毎日新聞 2023/04/29

2008:2./ 226p
978-4-00-022771-1
¥1,980〔税込〕



黒猫(角川文庫　ポー傑作選 ホ 22-1 1)

エドガー・アラン・ポー 著
KADOKAWA
おとなしい動物愛好家の「私」は、酒におぼれ人が変わり、可愛がっていた黒猫を虐め殺し、妻も手にかけ遺体を地下室へ隠すが…。戦慄の復讐譚「黒猫」を含むゴシックホラーや詩など全 14 編を収録した新訳・傑作選。

毎日新聞 2023/04/29

2022:2./ 345p
978-4-04-109243-9
¥836〔税込〕

モルグ街の殺人(角川文庫　ポー傑作選 ホ 22-2 2)

エドガー・アラン・ポー 著
KADOKAWA
名探偵デュパンが、パリで起きた密室母娘惨殺事件の鍵を華麗に解き明かし…。世界初の推理小説である表題作や、史上初の暗号解読小説「黄金虫」など、ポーの全 11 編のミステリー+詩を収録した新訳・傑作選。

毎日新聞 2023/04/29

2022:3./ 349p
978-4-04-109244-6
¥836〔税込〕

X だらけの社説(角川文庫　ポー傑作選 ホ 22-3 3)

エドガー・アラン・ポー 著
KADOKAWA
いがみあう新聞社同士の奇妙な論争を描く表題作をはじめ、「悪魔に首を賭けるな」「一週間に日曜が三度」など、ダークな風刺小説や謎かけ詩、創作論など、知られざる名作全 23 編を収録。訳者による論考も掲載。

毎日新聞 2023/04/29

2023:3./ 397p
978-4-04-113078-0
¥990〔税込〕

誰か故郷を想はざる　改版(角川文庫)

寺山　修司、鈴木成一デザイン室 著
角川書店
酒飲みの警察官と私生児の母との間に生まれて以来、家を出て、新宿の酒場を学校として過ごした青春時代を、虚実織り交ぜながら表現力豊かに描いた寺山修司のユニークな「自叙伝」。

毎日新聞 2023/04/29

2005:3./ 205p
978-4-04-131529-3
¥572〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

普通という異常～健常発達という病～(講談社現代新書　2692)

兼本 浩祐 著
講談社
「いじわるコミュニケーション」という承認欲求、対人希求性の過多、親の「いいね」という魔法…。健常発達を病に診たてて検討し、極端な「普通」がもたらす「しんどさ」から抜け出すためのヒントを提示する。

毎日新聞 2023/04/29

2023:1./ 252p
978-4-06-530538-6
¥1,100〔税込〕

11 人の考える日本人～吉田松陰から丸山眞男まで～(文春新書　1397)

片山 杜秀 著
文藝春秋
迫り来るグローバル化の圧力。日本人はいかに生きたらよいのか? 幕末を生きた吉田松陰、福沢諭吉から、昭和の戦争に直面した小林秀雄、丸山眞男まで、「考える日本人」の思想と生き方に学ぶ。連続講座の内容をもとに新書化。

毎日新聞 2023/04/29

2023:2./ 255p
978-4-16-661397-7
¥1,210〔税込〕

冒険の書～AI 時代のアンラーニング～

孫 泰蔵 著
日経ＢＰ社
僕らはなぜ勉強しなくちゃいけないの? 自分らしく楽しく生きるにはどうすればいいの? 世界を少しでも良くする方法は? 疑問の答えを求めた旅の記録。どんな問いを立て、どんな探究をしたのか、そのプロセスを詳しく綴る。

毎日新聞 2023/04/29

2023:2./ 365p
978-4-296-00077-7
¥1,760〔税込〕

社会を変えるスタートアップ～「就労困難者ゼロ社会」の実現～(光文社新書　1237)

小野貴也 著
光文社
日本には障害や難病による就労困難者が約 1500 万人存在する。就労支援プラットフォームを運営する起業家が、就労困難者とそうでない人の壁が解け合い、誰もが大活躍できる「インクルーシブ社会」の未来を語る。

毎日新聞 2023/04/29

2023:1./ 227p
978-4-334-04644-6
¥902〔税込〕

ディンマスの子供たち(ウィリアム・トレヴァー・コレクション)

ウィリアム・トレヴァー 著
国書刊行会
イングランドの港町で、人々は複雑な事情がありながらも平和な生活を営んでいる。しかし、一人の少年によって人々の意識の裏に潜む欲望・願望・夢が暴き出されていき…。読む者を戦慄させるトレヴァー初期の作品。

毎日新聞 2023/04/29

2023:3./ 318p
978-4-336-05918-5
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

動物写真家の記憶

前川貴行 著

新日本出版社

第一線で活躍する動物写真家が、記憶と信条に迫るフォトエッセイ。日々重ねる動物との対峙や撮影への考えを掘り下げ、その流儀を伝える。『日本カメラ』連載に写真を追加構成しまとめる。

毎日新聞 2023/04/29

2023:3./ 191p
978-4-406-06744-7
¥3,410〔税込〕

残されたものたちの戦後日本表現史

山本昭宏 著

青土社

戦争で生き残った表現者たちは個別の方法でそれぞれの経験の物語を作り上げてきた。水木しげる、中沢啓治、高畑勲から、こうの史代まで。これから先もずっと読まれ、観られ続けるべき作家・作品たちを精緻に読み解く。

毎日新聞 2023/04/29

2023:2./ 289p
978-4-7917-7538-5
¥2,420〔税込〕

ラカンで読む寺山修司の世界

野島　直子 著

トランスビュー

寺山修司の特異なスペクタクルがもつ思想性とは何か。俳句、短歌から演劇、映画まで、その創作活動をラカン理論で鮮やかに読み解き、またそれによって、ファルス中心主義の批判を超える、ラカン思想の新たな展開を示す。

毎日新聞 2023/04/29

2007:3./ 266p
978-4-901510-47-9
¥4,180〔税込〕

我方他方～サックス吹き・篠田昌已読本～

大熊 ワタル 編

共和国/editorial republica

1990 年代前後の「時代」を駆け抜けたサックス吹き、篠田昌已のファンブック。町田康、大友良英らの寄稿やディスコグラフィーなども収録。2008 年 12 月発行の篠田昌已生誕 50 年記念パンフレットを増補し書籍化。

毎日新聞 2023/04/29

2022:12./ 181p
978-4-907986-03-2
¥1,980〔税込〕

世界を文学でどう描けるか

黒川 創 著

図書出版みぎわ

いまなお続く「終わらない戦争」。世界の複雑さを直視し、そこに住むひとりひとりの生活を見つめること、想像すること。そこから、小さな光明としての、言葉が、文学がたち現れる。混迷の時代に文学がどう生まれるのか考える。

毎日新聞 2023/04/29

2023:3./ 185p
978-4-911029-00-8
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO